

観覧設計書

業 務 名	矢板市下水道終末処理場等維持管理業務委託
履 行 箇 所	矢板市安沢、沢、木幡、石関、他地内
履 行 期 間	令和13年3月31日まで

入 札 日	令和 8 年 1 月27日	時間については、入札通知書により確認のこと
場 所	矢板市生涯学習館 2階 研修室（1）	
観覧期間	令和7年12月24日から令和 8 年 1 月26日まで	
担 当	下水道課 施設担当	

そ の 他	
-------	--

令和8年度 ～ 令和12年度	設 計 の 理 由	矢板市下水道終末処理場等の保 守点検等維持管理を適正に行う ために、本委託を要する。	委託期間	R8.4.1 ～ R13.3.31	施 工 方 法	条件付き一 般競争入札
----------------------	-----------------	--	------	-------------------------	------------	----------------

<div> <div> <div>市長</div> <div>副市長</div> <div>所 長</div> </div> <div> <div>課 長</div> <div>課長補佐</div> <div>担 当</div> </div> </div>						<div> <div>市 長</div> <div>副市長</div> <div>所 長</div> </div>	
						<div> <div>副市長</div> <div>所 長</div> </div>	
						<div> <div>所 長</div> </div>	
						<div> <div>課 長</div> </div>	
						<div> <div>課長補佐</div> </div>	
<div> <div> <div>実 施 設 計 書</div> <div> <div>委 託 名</div> <div>矢板市下水道終末処理場等維持管理業務委託</div> </div> <div> <div>履行箇所</div> <div>矢板市安沢、沢、木幡、石関、他地内</div> </div> <div> <div>設 計 概 要</div> <div> <div>1. 終末処理場維持管理業務</div> <div> <div>保守点検・運転操作監視等業務</div> <div>1 式</div> </div> <div>2. その他の業務</div> <div> <div>下水流入水・放流水検査及び機器修繕工事等</div> <div>1 式</div> <div>薬品購入・電気料等</div> <div>1 式</div> </div> <div>3. マンホールポンプ場維持管理業務</div> <div> <div>保守点検・その他の業務</div> <div>1 式</div> </div> <div>4. 沢・境林地区水処理センター維持管理業務</div> <div> <div>(沢地区)</div> <div>1 式</div> <div>(境林地区)</div> <div>1 式</div> </div> <div>5. コリーナ矢板排水処理施設維持管理業務</div> <div> <div>(コリーナ)</div> <div>1 式</div> </div> </div> </div> </div></div>							

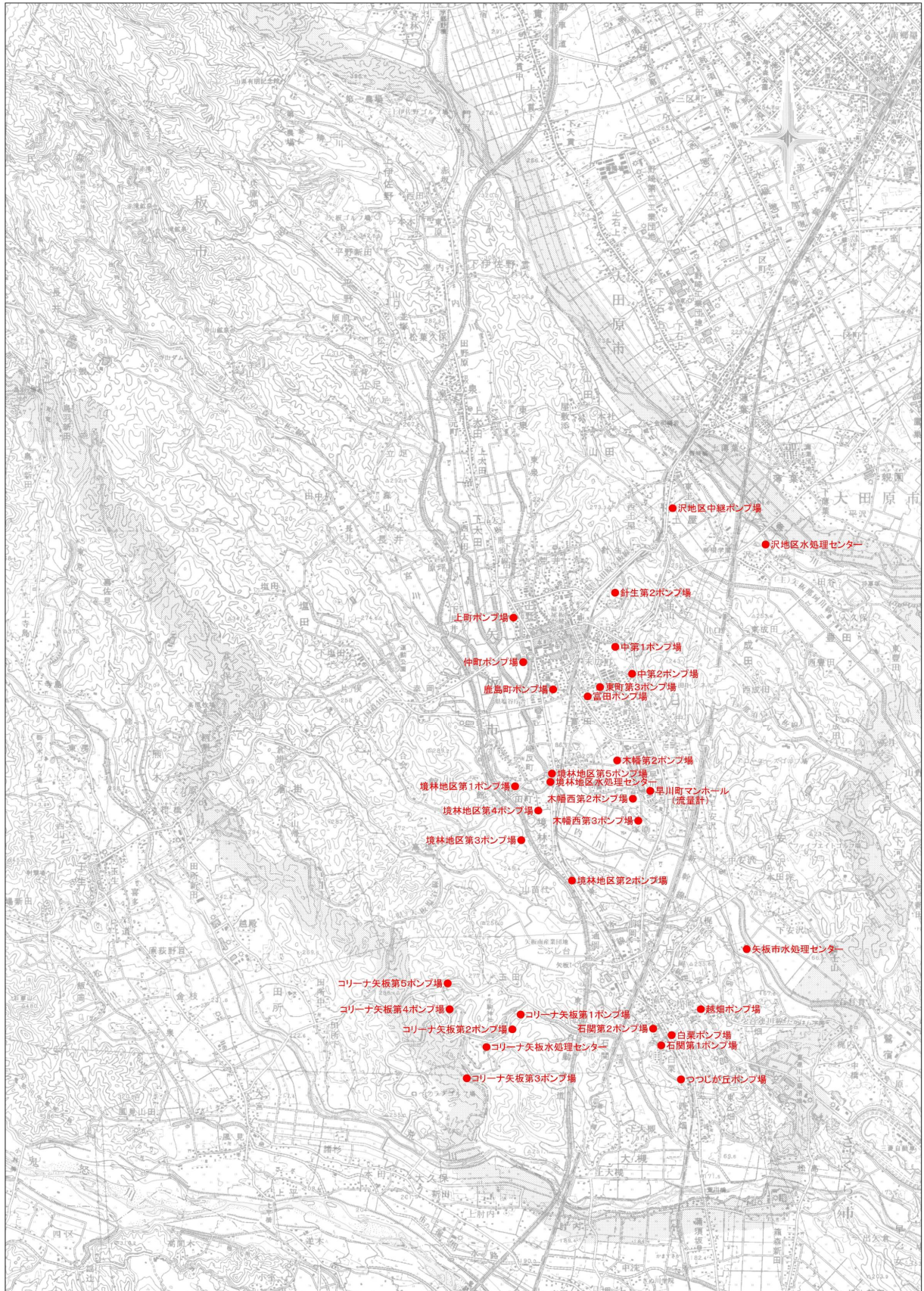
設 計 書 用 紙 (甲)

栃 木 県 矢 板 市

業務委託費	円
業務価格	円
消費税相当額	円

			増減額	予算額 に対する 査定額 増 減 額		理 由
実 施	設 計 額			前 設 計 額 請 負 額 に対する 増 額		
	請 負 額					
前 回	請 負 率					
	設 計 額					
今回変更	設 計 額					
	請 負 額					

位置図



令和8年度～令和12年度

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘要
業務委託費								
	1. 終末処理場 (矢板市水処理センター)							
		直接業務費						
			保守点検業務費	年	5			内訳書第1号
			運転操作監視業務費	年	5			内訳書第2号
			水質試験業務費	年	5			内訳書第3号
			事務業務費	年	5			内訳書第4号
			その他の業務費	年	5			内訳書第5号
		直接業務費計						
		直接経費		式	1			
			突発修繕工事	年	5			内訳書第6号
		技術経費	対象：保守点検、運転 操作監視、水質試験	式	1			
		間接業務費		式	1			
	業務原価							

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘要
	2. その他業務 (矢板市水処理センター)							
		直接経費						
			その他の業務費	年	5			内訳書第7号
			下水流入水・放流水 検査費	式	1			内訳書第8号
			脱水ケーキ 溶出試験・含有試験費	式	1			内訳書第9号
			し 渣・沈砂 溶出試験費	式	1			内訳書第10号
			特定事業場 水質調査費	式	1			内訳書第11号
			緑地管理業務及び 清掃業務	年	5			内訳書第12号
			床排水ポンプ更新	式	1			内訳書第13号
			機械棟活性炭 交換業務	式	1			内訳書第14号
			沈砂池棟活性炭 交換業務	式	1			内訳書第15号
			ライフゼム点検	式	1			内訳書第16号
			沈渣池棟No.1ポンプ 井攪拌機更新	式	1			内訳書第17号
			移動発電機レンタル	年	5			内訳書第18号
			消防設備等保守点検業務	年	5			内訳書第19号
			自家用電気工作物 保安管理業務	年	5			内訳書第20号
			管理棟・沈砂池棟 機械警備業務	年	5			内訳書第21号

費 目	工 種	種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
			薬品等購入	年	5			内訳書第22号
			電気料等	年	5			内訳書第23号
	業務価格							
	3. マンホールポンプ場 (矢板市水処理センター)							
		直接業務費						
			保守点検業務費	年	5			内訳書第24号
			その他の業務費	年	5			内訳書第25号
		直接業務費計						
		直接経費		年	5			内訳書第26号
			電気料等	年	5			内訳書第27号
		技術経費		式	1			
		間接業務費		式	1			
	業務原価							
	4-1. 水処理センター 維持管理（沢）							
		直接業務費						

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘要
			準備、確認、片付け (沢地区)	年	5			内訳書第28号
			水質測定 (沢地区)	年	5			内訳書第29号
			点検作業 (沢地区)	年	5			内訳書第30号
			保守作業 (沢地区)	年	5			内訳書第31号
			その他 (沢地区)	年	5			内訳書第32号
			計画・報告書作成 (沢地区)	年	5			内訳書第33号
			立ち会い (沢地区)	年	5			内訳書第34号
			打合せ (沢地区)	年	5			内訳書第35号
			中継ポンプ場 1基 (沢地区)	年	5			内訳書第36号
		直接業務費計						
		直接経費		式	1			
		技術経費		式	1			
		間接業務費		式	1			
		業務原価						
	4-2. その他業務 (沢)							
		直接経費						

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘要
			薬品費	年	5			内訳書第37号
			下水道流入水・放流水検査	年	5			内訳書第38号
			電気料等	年	5			内訳書第39号
		業務原価						
	4-3. 水処理センター 維持管理（境林）							
		直接業務費						
			準備、確認、片付け （境林地区）	年	5			内訳書第40号
			水質測定 （境林地区）	年	5			内訳書第41号
			点検作業 （境林地区）	年	5			内訳書第42号
			保守作業 （境林地区）	年	5			内訳書第43号
			その他 （境林地区）	年	5			内訳書第44号
			計画・報告書作成 （境林地区）	年	5			内訳書第45号
			立ち会い （境林地区）	年	5			内訳書第46号
			打合せ （境林地区）	年	5			内訳書第47号
			中継ポンプ場 5基 （境林地区）	年	5			内訳書第48号
		直接業務費計						
		直接経費		式	5			

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘要
		技術経費		式	5			
		間接業務費		式	5			
		業務原価						
	4-4. その他業務 (境林)							
		直接経費						
			薬品費	年	5			内訳書第49号
			下水道流入水・放流水検査	年	5			内訳書第50号
			電気料等	年	5			内訳書第51号
			自家用電気工作物	年	5			内訳書第52号
			消防設備等保守点検業務	年	5			内訳書第53号
		業務原価						
	5-1. 水処理センター 維持管理（コリーナ）							
		直接業務費						
			準備、確認、片づけ	年	5			内訳書第54号
			水質測定	年	5			内訳書第55号
			点検作業	年	5			内訳書第56号

費 目	工 種	種 別	細 別	単位	数 量	単 価	金 額	摘要
			保守作業	年	5			内訳書第57号
			技術管理作業	年	5			内訳書第58号
			ポンプ場維持管理	年	5			内訳書第59号
			マンホールポンプ場維持管理	年	5			内訳書第60号
		直接業務費計						
		直接経費（率）						
		技術経費						
		間接業務費						
		業務原価						
	5-2. その他業務 （コリーナ）							
		直接経費	薬品費	年	5			内訳書第61号
			マンホールポンプ場清掃費	年	5			内訳書第62号
			し渣処分費	年	5			内訳書第63号
			汚泥引抜処分費	年	5			内訳書第64号
			浄化槽法第11条検査費	年	5			内訳書第65号
			下水流入水・放流水検査費	年	5			内訳書第66号
			電気料等	年	5			内訳書第67号

[illegible]

内 訳 書

保守点検業務費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
総括責任者		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-8より
副総括		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-8より
主任		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-8より
技術員		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-8より
技能員		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-8より
計						

単年度分（令和８年度～12年度）

第２号

内 訳 書

運転操作監視業務費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
総括責任者	（昼間監視）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-9より
副総括	（昼間監視）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-9より
主任	（昼間監視）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-9より
技術員	（昼間監視）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-9より
技能員	（昼間監視）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-9より
主任	（脱水監視）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-9より
技術員	（脱水監視）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-9より
技能員	（脱水監視）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-9より
その他	（脱水監視）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-9より
計						

内 訳 書

水質試験業務費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
総括責任者	（日常試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
副総括	（日常試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
主任	（日常試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
技術員	（日常試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
技能員	（日常試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
その他	（日常試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
総括責任者	（通日試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
副総括	（通日試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
主任	（通日試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
技術員	（通日試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
技能員	（通日試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
その他	（通日試験）	人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-10より
計						

単年度分（令和8年度～12年度）

第4号

内 訳 書

事務業務費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
総括責任者		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-11より
副総括		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-11より
主任		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-11より
技術員		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-11より
技能員		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-11より
その他		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-11より
計						

単年度分（令和 8 年度～12年度）

第 5 号

内 訳 書

その他の業務費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任		人				
技能員		人				
その他		人				
計						

内 訳 書

突発修繕工事費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
突発修繕工事費		式	1			
計						

単年度分（令和８年度～12年度）

第 7 号

内 訳 書

その他の業務費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
業務総括責任者		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-12より
副総括		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-12より
主任		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-12より
技術員		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-12より
技能員		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-12より
その他		人				下水道維持管理積算要領（日本下水道協会） 表2-1-12より
計						

内 訳 書

下水流入水・放流水検査費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下水流入水検査費	9項目	回	12			資料3-1
下水放流水検査費	16項目	回	24			資料3-1
下水放流水検査費	29項目	回	2			資料3-1
計						

内 訳 書

脱水ケーキ溶出試験・含有試験費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
脱水ケーキ 溶出試験費	30項目	回	2			資料3-2
脱水ケーキ 含有試験費	10項目	回	2			資料3-2
計						

内 訳 書

し 渣 ・ 沈 砂 溶 出 試 験 費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
し 渣、沈 渣 溶 出 試 験 費	32項目	回	2			資料3-3
計						

単年度分（令和 8 年度～12年度）

第11号

内 訳 書

特定事業場水質調査費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
特定事業場 水質調査費	12箇所	回	2			資料4
計						

内 訳 書

緑地管理業務及び清掃業務

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
施設内清掃業務	窓ガラス清掃 床面剥離洗浄ワックスがけ	式	1			単価表NO. 1
敷地内草刈り業務	年 3 回 約 3 0 , 0 0 0 m ²	式	1			資料6
植木剪定業務	年 1 回	式	1			資料6
計						

単 価 表 No. 1

施設内清掃業務

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
1F 廊下、階段、下足室	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	57			資料5
1F 宿直室通路、入り口	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	13			資料5
1F トイレ	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	12			資料5
1F 廊下	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	39			資料5
1F 作業員控室	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	44			資料5
1F 脱衣室（前）	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	6			資料5
1F 水質検査室	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	33			資料5
2F 監視室	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	88			資料5
2F 廊下、階段	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	66			資料5
2F 男子トイレ、女子トイレ、仮眠室入口	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	14			資料5
2F 会議室、書庫、事務室	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	165			資料5
1F 窓ガラス清掃	玄関風除室、玄関ホール、渡り廊下、 作業員控室、トイレ	式	1			資料5
2F 窓ガラス清掃	監視室、事務室、会議室、仮眠室 トイレ					
計						

内 訳 書

床排水ポンプ更新

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
連絡管廊床排水ポンプ	出力1.5kw 電圧200v 周波数50Hz 極数2P	台	2			資料7
機械棟床排水ポンプ	出力1.5kw 電圧200v 周波数50Hz 極数4P	台	2			資料7
計						

単年度分（令和８年度～12年度）

第14号

内訳書

機械棟活性炭交換業務（一式当たり）

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
脱臭用活性炭						資料8
酸性ガス用活性炭		kg	290			資料8
塩基性ガス用活性炭		kg	300			資料8
中性ガス用活性炭		kg	280			資料8
交換作業費		式	1			資料8
試運転調整費		式	1			資料8
ガス濃度検知管測定費		式	1			資料8
機器損料費		式	1			資料8
安全対策費		式	1			資料8
雑材消耗品費		式	1			資料8
諸経費（業務管理・一般管理費）		式	1			資料8
計						

内訳書

沈砂池棟活性炭交換業務（一式当たり）

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
脱臭用活性炭						資料9
酸性ガス用活性炭		kg	330			資料9
塩基性ガス用活性炭		kg	396			資料9
中性ガス用活性炭		kg	363			資料9
交換作業費		式	1			資料9
試運転調整費		式	1			資料9
ガス濃度検知管測定費		式	1			資料9
機器損料費		式	1			資料9
安全対策費		式	1			資料9
雑材消耗品費		式	1			資料9
諸経費（業務管理・一般管理費）		式	1			資料9
計						

内 訳 書

ライフゼム点検

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
空気呼吸用ポンベ 耐圧検査、空気充填	スチール製	本	1			資料10
空気呼吸用ポンベ 耐圧検査、空気充填	FRP製	本	1			資料10
計						

内 訳 書

沈渣池棟No. 1ポンプ井攪拌機更新

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
機器費		台	1			単価表No. 2
既設搬出及び搬入据付		人	2			資料11
機材損料		式	1			資料11
諸経費		式	1			資料11
計						

単 価 表 No. 2

機器費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
水中攪拌機	3相×1.5kw×200V×50Hz	台	1			
	主要材質					
	プロペラ : SUS316相当 Φ368					
	ケーシング : SUS316相当					
	シャフト : SUS431相当					
	ドラフトリング : SUS304					
	ケーブル : 2PNCT 4芯2mm ² +2芯1.25mm ² ×Nm					
計						

内 訳 書

移動発電機レンタル

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
発電機	DS/S 60/50KVA	月	12			資料12
発電機固定用レバー ブロック		月	12			資料12
ダンプ 2 t		月	12			資料12
計						

内 訳 書

消防設備等保守点検業務

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
消防設備 保守点検費（総合点検）		回	1			資料13
消防設備 保守点検費（外観機能）		回	1			資料13
計						

単年度分（令和 8 年度～12年度）

第20号

内 訳 書

自家用電気工作物保安管理業務

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
保安管理業務委託 手数料	受電設備容量 800kVA 非常用予備発電装置250 kVA	月	12.0			資料14
年次点検割増手数料	早朝実施割増 (平日22時から翌朝5時)	回	1.0			資料14
	割増増員	回	1.0			資料14
計						

内 訳 書

管理棟・沈砂池棟機械警備業務

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
機械警備業務費	管理棟	式	1			
	沈砂池棟	式	1			
計						

単年度分（令和８年度～12年度）

第22号

内 訳 書

薬品等購入

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
高分子凝集剤	WAフロック	kg	1,800			
消臭剤	ライトクリスタル	kg	2,000			
無機消臭剤	ライトクリスタル	kg	10,000			
次亜塩素酸ソーダ	有効塩素 12%	kg	24,000			
固形塩素		箱	5			(15kg/箱)
A重油		kg	100			
油脂類	オイル、グリス	式	1			
水質分析用 試薬及び器具		式	1			
チャート紙・リボン		式	1			
Vベルト等消耗品		式	1			
計						

内 訳 書

電気料等

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
電話料金	1 回線	月	12			
水道料金		月	12			
ガス料金		月	12			
電気料金		月	12			
計						

内 訳 書

保守点検業務費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
総括責任者		人				
副総括		人				
主任		人				
技術員		人				
技能員		人				
計						

内 訳 書

その他の業務費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
主任		人				
技能員		人				
その他		人				
計						

単年度分（令和8年度～12年度）

第26号

内 訳 書

直接経費

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
交通整理要員	その他	人				労務単価は職種「交通誘導員B」
クレーン付 トラック損料	2t、2t吊り	日				建設機械等損料算定表
マンホールポンプ 清掃費	3箇所／1回	回				
率計上		式				
計						

内 訳 書

電気料等

種 目	形 状 ・ 寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
電話料金	1 6 回線	月	12			
電気料金		月	12			
計						

内 訳 書

準備、確認、片付け（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				1.3.3 協会－Ⅲ型 （2系列）より
作業員		人				1.3.3 協会－Ⅲ型 （2系列）より
計						

内 訳 書

水質測定（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				1.3.3 協会－Ⅲ型 （2系列）より
作業員		人				1.3.3 協会－Ⅲ型 （2系列）より
計						

内 訳 書

点検作業（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				1.3.3 協会－Ⅲ型 （2系列）より
作業員		人				1.3.3 協会－Ⅲ型 （2系列）より
計						

内 訳 書

保守作業（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				1.3.3 協会－Ⅲ型 （2系列）より
作業員		人				1.3.3 協会－Ⅲ型 （2系列）より
計						

内 訳 書

その他（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				1.3.3 協会－Ⅲ型 （2系列）より
計						

内 訳 書

計画・報告書作成（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技術管理者		人				協会－Ⅲ型（2系列）、X Ⅳ型より
計						

内 訳 書

立ち会い（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技術管理者		人				協会－Ⅲ型（2系列）、X Ⅳ型より
計						

内 訳 書

打合せ（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技術管理者		人				協会－Ⅲ型（2系列）、X Ⅳ型より
計						

内 訳 書

中継ポンプ場（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				
作業員		人				
計						

内 訳 書

薬品費（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
固形塩素	有効塩素率90%	箱	24.0			(箱/15kg)
計						

内 訳 書

下水流入水・放流水検査費（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下水流入水検査費	6項目	回	12.0			
下水放流水検査費	16項目	回	16.0			
計						

内 訳 書

電気料等（沢地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
電気料金		月	12.0			
水道料金		月	12.0			
計						

準備、確認、片付け（境林地区） 1式

内 訳 書

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				1.3.6 協会－XⅣ型 （汚泥掻寄機構造）より
作業員		人				1.3.6 協会－XⅣ型 （汚泥掻寄機構造）より
計						

内 訳 書

水質測定（境林地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				1.3.6 協会－XⅣ型 （汚泥掻寄機構造）より
作業員		人				1.3.6 協会－XⅣ型 （汚泥掻寄機構造）より
計						

内 訳 書

点検作業（境林地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				1.3.6 協会－XⅣ型 （汚泥掻寄機構造）より
作業員		人				1.3.6 協会－XⅣ型 （汚泥掻寄機構造）より
計						

内 訳 書

保守作業（境林地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				1.3.6 協会－XⅣ型 （汚泥掻寄機構造）より
作業員		人				1.3.6 協会－XⅣ型 （汚泥掻寄機構造）より
計						

内 訳 書

その他（境林地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				1.3.6 協会－XIV型 （汚泥掻寄機構造）より
計						

内 訳 書

計画・報告書作成（境林地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技術管理者		人				協会－Ⅲ型（2系列）、X Ⅳ型より
計						

内 訳 書

立ち会い（境林地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技術管理者		人				協会－Ⅲ型（2系列）、X Ⅳ型より
計						

内 訳 書

打合せ（境林地区） 1式

種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技術管理者		人				協会－Ⅲ型（2系列）、X Ⅳ型より
計						

単年度分（令和8年度～12年度）

第48号

内 訳 書

中継ポンプ場（境林地区） 1式

[illegible]

内 訳 書

薬品費（境林） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
固形塩素	有効塩素率90%	箱	24.0			(箱/15kg)
計						

内 訳 書

下水流入水・放流水検査費（境林） 1式

種 目	形 状・寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下水流入水検査費	6項目	回	12.0			
下水放流水検査費	16項目	回	16.0			
計						

内 訳 書

電気料等（境林） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
電気料金	処理場	月	12.0			
電気料金	ポンプ場	月	12.0			
水道料金		月	12.0			
電話料金		月	12.0			
計						

内 訳 書

自家用電気工作物保安管理業務（境林） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
保安管理業務委託手数料		月	12.0			
清掃業務		回	1.0			
計						

内 訳 書

消防設備等保守点検業務（境林） 1式

種 目	形 状・寸 法	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
機器点検		回	1.0			
総合点検		回	1.0			
計						

内 訳 書

準備、確認、片付け（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				
作業員		人				
計						

内 訳 書

水質測定（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				
作業員		人				
計						

内 訳 書

点検作業（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				
作業員		人				
計						

内 訳 書

保守作業（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				
作業員		人				
計						

内 訳 書

技術管理作業（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
技術管理者		人				
計						

内 訳 書

ポンプ場維持管理（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				第1、第2ポンプ場 2か所
計						

内 訳 書

マンホールポンプ場維持管理（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
担当技術者		人				第3、4、5中継ポンプ 3か所
計						

内 訳 書

薬品費（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
固形塩素	有効塩素率90%	箱	90.0			(箱/15kg)
計						

内 訳 書

マンホールポンプ場清掃費（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
4 t ダンパー車		台				
洗浄車		台				
作業員		人				
計						

し渣処分費（コリーナ） 1式

[illegible]

内 訳 書

汚泥引抜処分費（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
汚泥引抜処分費		m ³	60.0			
計						

内 訳 書

浄化槽法第11条検査費（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
浄化槽法第11条検査費		回	1.0			
計						

内 訳 書

下水流入水・放流水検査費（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
下水流入水検査費	4項目	回	12.0			
下水放流水検査費	16項目	回	12.0			
計						

内 訳 書

電気料等（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
電気料金	処理場	月	12.0			
電気料金	ポンプ場	月	12.0			
水道料金		月	12.0			
電話料金		月	12.0			
計						

内 訳 書

自家用電気工作物保安管理業務（コリーナ） 1式

種 目	形 状 ・ 寸 法	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
保安管理業務委託手数料		月	12.0			
清掃業務		回	1.0			
計						

作業時間計算書（沢）

準備、確認、片付け

1.3.3 協会－Ⅲ型（2系列）

作業項目	作業内容	年間の 作業回数	担当技術者		作業員		備考
			1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	
門扉、施設外周	開門、異常の確認、記録	26					
	閉門、施錠	26					
	防虫網、ガラリ等の清掃	2					
管理室	異常の確認、点検	26					
	換気、照明設備の掃除等	1					
動力制御・計装盤	異常の確認、記録	26					
	記録用紙の交換	4					
電灯分電盤	異常の確認	26					
点検蓋	状況の点検、開放	26					
	閉鎖	26					
	掃除	4					
	受け枠の点検	1					
作業器具	準備	26					
	片付け	26					
小計							
年間人数							

作業時間計算書（沢）

水質測定

1.3.3 協会－Ⅲ型（2系列）

作業項目	作業内容	年間の 作業回数	担当技術者		作業員		備考
			1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	
消毒槽	外観・残留塩素	26					外観とは、色合・臭気・水温・透視度である。
1系列							
沈殿槽	外観・PH・DO	26					
ばっ気槽第5室	外観	26					
	PH・DO・ORP	26					
ばっ気槽第4室	外観	26					
	PH・DO・ORP	26					
ばっ気槽第3室	外観	26					
	PH・DO・ORP	26					
ばっ気槽第2室	外観	26					
	PH・DO・ORP	26					
ばっ気槽第1室	外観	26					
	PH・DO・ORP	26					
2系列							
沈殿槽	外観・PH・DO	26					
ばっ気槽第5室	外観	26					
	PH・DO・ORP	26					
ばっ気槽第4室	外観	26					
	PH・DO・ORP	26					
ばっ気槽第3室	外観	26					
	PH・DO・ORP	26					
ばっ気槽第2室	外観	26					
	PH・DO・ORP	26					

作業時間計算書（沢）

水質測定

1.3.3 協会－Ⅲ型（2系列）

作 業 項 目	作 業 内 容	年間の 作業回数	担 当 技 術 者		作 業 員		備 考
			1 回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	1 回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	
ばっ気槽第 1 室	外観	26					
	PH・DO・ORP	26					
汚水計量槽	外観	26					
	PH・DO・ORP	12					
小 計							
年間人数							

作業時間計算書（沢）

点検作業

1.3.3 協会－Ⅲ型（2系列）

作業項目	作業内容	年間の 作業回数	担当技術者		作業員		備考
			1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	
放流ポンプ槽	運転状況の点検	26					
消毒槽	運転状況の点検	26					
散水ポンプ槽	運転状況の点検	26					
1 系列							
沈殿槽	運転状況の点検	26					
ばっ気槽第 5 室	運転状況の点検	26					
	活性汚泥の観察	12					
ばっ気槽第 4 室	運転状況の点検	26					
	活性汚泥の観察	12					
ばっ気槽第 3 室	運転状況の点検	26					
	活性汚泥の観察	12					
ばっ気槽第 2 室	運転状況の点検	26					
	活性汚泥の観察	12					
ばっ気槽第 1 室	運転状況の点検	26					
	活性汚泥の観察	12					
2 系列							
沈殿槽	運転状況の点検	26					
ばっ気槽第 5 室	運転状況の点検	26					
	活性汚泥の観察	12					
ばっ気槽第 4 室	運転状況の点検	26					
	活性汚泥の観察	12					
ばっ気槽第 3 室	運転状況の点検	26					
	活性汚泥の観察	12					

作業時間計算書（沢）

点検作業

1.3.3 協会－Ⅲ型（2系列）

作業項目	作業内容	年間の 作業回数	担当技術者		作業員		備考
			1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	
ばっ気槽第2室	運転状況の点検	26					
	活性汚泥の観察	12					
ばっ気槽第1室	運転状況の点検	26					
	活性汚泥の観察	12					
培養槽	運転状況の点検	26					
培養槽（予備）	運転状況の点検	26					
前処理・スクリーン室	異常の点検、確認	26					
汚水計量槽	運転状況の点検	26					
自動微細目スクリーン	運転状況の点検	26					
流量調整槽	運転状況の点検	26					
	堆積物、機器等の点検	4					
原水ポンプ槽	運転状況の点検	26					
	堆積物、機器等の点検	4					
細目スクリーン	運転状況の点検	26					
破砕機	運転状況の点検	26					
ばっ気沈砂層	運転状況の点検	26					
自動荒目スクリーン	運転状況の点検	26					
ブロワ室	異常の点検、確認	26					
小 計							
年間人数							

作業時間計算書（沢）

保守作業

1.3.3 協会－Ⅲ型（2系列）

作業項目	作業内容	年間の 作業回数	担当技術者		作業員		備考
			1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	
放流ポンプ槽	堆積物等の除去	4					
	ポンプ等の保守	1					
消毒槽	消毒剤の補充	12					
	堆積物等の除去	4					
1系列							
沈殿槽	汚泥、スカムの移送	12					
	調整、掃除	4					
	ポンプ等の保守	1					
ばっ気槽第5室	調整、掃除	6					
ばっ気槽第4室	調整、掃除	6					
ばっ気槽第3室	調整、掃除	6					
ばっ気槽第2室	調整、掃除	6					
ばっ気槽第1室	調整、掃除	6					
2系列							
沈殿槽	汚泥、スカムの移送	12					
	調整、掃除	4					
	ポンプ等の保守	1					
ばっ気槽第5室	調整、掃除	6					
ばっ気槽第4室	調整、掃除	6					
ばっ気槽第3室	調整、掃除	6					
ばっ気槽第2室	調整、掃除	6					
ばっ気槽第1室	調整、掃除	6					
	槽内の掃除	4					
培養槽（予備）	槽内の掃除	4					
前処理・スクリーン室	換気、照明設備の保守	1					

作業時間計算書（沢）

保守作業

1.3.3 協会－Ⅲ型（2系列）

作業項目	作業内容	年間の 作業回数	担当技術者		作業員		備考
			1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	
汚水計量槽	堆積物等の除去	12					
自動微細目スクリーン	し渣の除去	12					
	堆積物等の除去	4					
流量調整槽	堆積物等の除去	4					
	ポンプ等の保守	1					
原水ポンプ槽	非常用ポンプの試運転	12					
	堆積物の除去	4					
	ポンプ等の保守	1					
破砕機	掃除	4					
ばっ気沈砂層	調整、掃除	12					
自動荒目スクリーン	スクリーン本体の保守	12					
ブロワ室	機器の保守	4					
	ブロア本体の保守	1					
小 計							
年間人数							

作業時間計算書（沢）

その他

1.3.3 協会－Ⅲ型（2系列）

作 業 項 目	作 業 内 容	年間の 作業回数	担 当 技 術 者		作 業 員		備 考
			1 回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	1 回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	
日報の整理		26					
立ち会い	清掃作業	4					
	法定検査	1					
打合せ	浄化槽管理者との打合せ	12					
小 計							
年間人数							

作業時間計算書（沢）

技術管理

協会－Ⅲ型（２系列）、協会－ⅩⅣ型

作 業 項 目	作 業 内 容	年間の 作業回数	技術管理者		備 考
			１回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	
計画・報告書作成	年間管理計画の作成	1			
	月報の作成	12			
	年間報告書の作成	1			
小計 年間人数					
立ち会い	現地での処理状況の確認	12			
	清掃作業	4			
	法定検査	1			
小計 年間人数					
打合せ	浄化槽管理者との打合せ	12			
小 計					
年間人数					

作業時間計算書（沢）

中継ポンプ場

1.3.3 協会－Ⅲ型（2系列）

作 業 項 目	作 業 内 容	年間の 作業回数	担 当 技 術 者		作 業 員		備 考
			1 回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	1 回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	
中継ポンプ場（1箇所）	運転状況の点検	24					
小 計							
年間人数							

作業時間計算書（境林）

準備、確認、片付け

1.3.5 協会－XIV型（汚泥掻寄機構造）

作業項目	作業内容	年間の 作業回数	担当技術者		作業員		備考
			1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	
門扉、施設外周	開門、異常の確認、記録	52					
	閉門、施錠	52					
	防虫網、ガラリ等の清掃	2					
管理室	異常の確認、点検	52					
	換気、照明設備の掃除等	1					
動力制御・計装盤	異常の確認、記録	52					
	記録用紙の交換	4					
電灯分電盤	異常の確認	52					
点検蓋	状況の点検、開放	52					
	閉鎖	52					
	掃除	4					
	受け枠の点検	1					
作業器具	準備	52					
	片付け	52					
小計							
年間人数							

作業時間計算書（境林）

水質測定

1.3.5 協会－XIV型（汚泥掻寄機構造）

作 業 項 目	作 業 内 容	年間の 作業回数	担 当 技 術 者		作 業 員		備 考
			1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	
消毒槽	外観・残留塩素	52					外観とは、色合・臭気・水温・透視度である。
沈殿槽	外観・PH・DO・ORP	52					
ばっ気槽第2室	外観	52					
	PH・DO・ORP・MLSS・SV	52					
ばっ気槽第1室	外観	52					
	PH・DO・ORP・MLSS・SV	52					
汚水計量槽	外観	52					
	PH・DO・ORP	12					
原水ポンプ槽	外観・PH・DO・ORP	4					
小 計							
年間人数							

作業時間計算書（境林）

点検作業

1.3.5 協会－XIV型（汚泥掻寄機構造）

作業項目	作業内容	年間の 作業回数	担当技術者		作業員		備考
			1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	
放流ポンプ槽	運転状況の点検	52					
消毒槽	運転状況の点検	52					
散水ポンプ槽	運転状況の点検	52					
沈殿槽	運転状況の点検	52					
ばっ気槽第2室	運転状況の点検	52					
ばっ気槽第1室	運転状況の点検	52					
汚泥濃縮槽	運転状況の点検	52					
汚泥貯留槽	運転状況の点検	12					
前処理・スクリーン室	異常の点検、確認	52					
汚水計量槽	運転状況の点検	52					
自動微細目スクリーン	運転状況の点検	52					
流量調整槽	運転状況の点検	52					
	堆積物、機器等の点検	4					
原水ポンプ槽	運転状況の点検	52					
	堆積物、機器等の点検	4					
細目スクリーン	運転状況の点検	52					
破砕機	運転状況の点検	52					
ばっ気沈砂層	運転状況の点検	52					
自動荒目スクリーン	運転状況の点検	52					
ブロワ室	異常の点検、確認	52					
小 計							
年間人数							

作業時間計算書（境林）

保守作業

1.3.5 協会－XⅣ型（汚泥掻寄機構造）

作 業 項 目	作 業 内 容	年間の 作業回数	担 当 技 術 者		作 業 員		備 考
			1 回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1 回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	
放流ポンプ槽	堆積物等の除去	4					
	ポンプ等の保守	1					
消毒槽	消毒剤の補充	12					
	堆積物等の除去	4					
散水ポンプ槽	堆積物等の除去	4					
	ポンプ等の保守	1					
沈殿槽	汚泥等の移送、調整	12					
	トラフ内の掃除等	4					
	ポンプの保守	1					
ばっ気槽第 1 室	運転設定の調整	12					
	ポンプ等の保守	1					
ばっ気槽第 2 室	ポンプ等の保守	1					
培養槽	汚泥、スカムの移送	12					
	槽内の掃除	4					
培養槽（予備）	槽内の掃除	4					
前処理・スクリーン室	換気、照明設備の保守	1					
汚水計量槽	堆積物等の除去	12					
自動微細目スクリーン	し渣の除去	12					
	堆積物等の除去等	4					
流量調整槽	堆積物等の除去	4					
	ポンプ等の保守	1					

作業時間計算書（境林）

保守作業

1.3.5 協会－XⅣ型（汚泥掻寄機構造）

作 業 項 目	作 業 内 容	年間の 作業回数	担 当 技 術 者		作 業 員		備 考
			1 回の作業時間 (分/回)	年間の作業時間 (分/年)	1 回の作業時間	年間の作業時間	
					(分/回)	(分/年)	
原水ポンプ槽	非常用ポンプの試運転	12					
	堆積物等の除去	4					
	ポンプ等の保守	1					
破砕機	掃除	4					
ばっ気沈砂層	運転状況の点検	12					
自動荒目スクリーン	運転状況の点検	12					
ブロワ室	機器の保守	4					
	ブロア本体の保守	1					
計測機器	D O 計の洗浄、校正	12					
	O R P 計の洗浄、校正	12					
	M L S S 計の洗浄、校正	12					
小 計							
年間人数							

作業時間計算書（境林）

その他

1.3.5 協会－XIV型（汚泥掻寄機構造）

作 業 項 目	作 業 内 容	年間の 作業回数	担 当 技 術 者		作 業 員		備 考
			1 回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	1 回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	
日報の整理		52					
立ち会い	清掃作業	4					
	法定検査	1					
打合せ	浄化槽管理者との打合せ	12					
小 計							
年間人数							

作業時間計算書（境林）

技術管理

協会－Ⅲ型（２系列）、協会－ⅩⅣ型

作 業 項 目	作 業 内 容	年間の 作業回数	技術管理者		備 考
			１回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	
計画・報告書作成	年間管理計画の作成	1			
	月報の作成	12			
	年間報告書の作成	1			
小計					
年間人数					
立ち会い	現地での処理状況の確認	12			
	清掃作業	4			
	法定検査	1			
小計					
年間人数					
打合せ	浄化槽管理者との打合せ	12			
小 計					
年間人数					

作業時間計算書（境林）

中継ポンプ場（境林地区）

1.3.3 協会－Ⅲ型（2系列）

作 業 項 目	作 業 内 容	年間の 作業回数	担 当 技 術 者		作 業 員		備 考
			1回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	1回の作業時間 （分/回）	年間の作業時間 （分/年）	
中継ポンプ場（1）	運転状況の点検	24					
中継ポンプ場（2）	運転状況の点検	24					
中継ポンプ場（3）	運転状況の点検	24					
中継ポンプ場（4）	運転状況の点検	24					
中継ポンプ場（5）	運転状況の点検	24					
小 計							
年間人数							

作業時間計算書（コリーナ）

作業項目	作業内容	回／年	担当技術者		作業員	
			1回の作業時間	年間作業時間	1回の作業時間	年間作業時間
準備、確認、片付け						
開扉、施設外周	開門、異常の確認、記録	52				
	閉門、施錠	52				
	防虫網、ガラリ等の掃除	2				
管 理 室	異常の確認、点検	52				
	換気・照明設備の掃除等	1				
動力制御・計装盤	異常の確認、記録	52				
電灯分電盤	異常の確認	52				
点 検 蓋	状況の点検・開放	52				
	閉鎖	52				
	掃除	4				
	受枠の点検	1				
作業器具	準備	52				
	片付け	52				
小 計						
（年間人員）						
水質測定						
消 毒 槽	外観、残留塩素	52				
沈 殿 槽	外観、ph、D0	52				
ばっ気槽第2室	外観	52				
	ph、D0、MLSS、SV	52				
ばっ気槽第1室	外観	52				
	ph、D0、MLSS、SV	52				
汚泥濃縮槽	外観	52				
汚水計量槽	外観	52				
	ph、D0	12				
原水ポンプ槽	外観、ph、D0	4				
小 計						
（年間人員）						
点検作業						
放流ポンプ槽	運転状況の点検	52				
消 毒 槽	運転状況の点検	52				
沈 殿 槽	運転状況の点検	52				
ばっ気槽第2室(1・2・3系列)	運転状況の点検	104				
ばっ気槽第1室(1・2・3系列)	運転状況の点検	104				
汚泥濃縮槽	運転状況の点検	52				
汚泥貯留槽	運転状況の点検	12				
前処理・スクリーン室	異常の確認・点検	52				
汚水計量槽	運転状況の点検	52				
自動微細目スクリーン	運転状況の点検	52				
流量調整槽	運転状況の点検	52				
	堆積物、機器等の点検	4				
原水ポンプ槽	運転状況の点検	52				
	堆積物、機器等の点検	4				
細目スクリーン	運転状況の点検	52				
ばっ気沈砂槽	運転状況の点検	52				
ブロウ室	異常の確認・点検	52				
小 計						
（年間人員）						

作業時間計算書（コリーナ）

作業項目	作業内容	回／年	担当技術者		作 業 員	
			1 回の作業時間	年間作業時間	1 回の作業時間	年間作業時間
保守作業						
放流ポンプ槽	堆積物の除去	4				
	ポンプ等の保守	1				
消 毒 槽	消毒剤の補充	12				
	堆積物の除去	4				
沈 殿 槽	汚泥等の移送、調整	12				
	トラフ内の掃除等	4				
	ポンプ等の保守	1				
ばっ気槽第 1 室(1・2・3系列)	運転設定の調整	52				
	ポンプ等の保守	1				
ばっ気槽第 2 室(1・2・3系列)	運転設定の調整	52				
	ポンプ等の保守	1				
汚泥濃縮槽	汚泥、スカムの移送	12				
	槽内の掃除	4				
汚泥貯留槽	槽内の掃除	4				
前処理・スクリーン室	換気、照明設備の保守	1				
汚水計量槽	堆積物の除去	12				
自動微細目スクリーン	し 渣の除去	12				
	堆積物の除去等	4				
流量調整槽	堆積物の除去	4				
	ポンプ等の保守	1				
原水ポンプ槽	非常用ポンプの試運転	12				
	堆積物の除去	4				
	ポンプ等の保守	1				
ばっ気沈砂槽	調整、掃除	12				
ブロワ室	機器の保守	4				
	ブロワ本体の保守	1				
小 計						
(年間人員)						
技術管理作業						
計画・報告書作成	年間管理計画の作成	1				
	月報の作成	12				
	年間報告書の作成	1				
立ち会い	現地での処理状況の確認	12				
	清掃作業	4				
	法定検査	1				
打ち合わせ	浄化槽管理者との打ち合わせ	12				
小 計						
(年間人員)						
ポンプ場維持管理						
第 1 ポンプ場	運転状況等の点検	52				
第 2 ポンプ場	運転状況等の点検	52				
小 計						
(年間人員)						
マンホールポンプ場維持管理						
第 3 ポンプ場	運転状況等の点検	12				
第 4 ポンプ場	運転状況等の点検	12				
第 5 ポンプ場	運転状況等の点検	12				
小 計						
(年間人員)						

公表単価一覧表

業務名： 矢板市下水道終末処理場等維持管理業務委託

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
矢板市水処理センター 下水流入水・放流水検査費	9項目	回	75,000	○	○	○	
下水放流水検査費	16項目	回	145,250	○	○	○	
下水放流水検査費	29項目	回	676,250	○	○	○	
脱水ケーキ溶出・含有試験費 溶出試験費	30項目	回	524,750	○	○	○	
含有試験費	10項目	回	108,500	○	○	○	
し渣・沈渣溶出試験費	32項目	回	1,119,500	○	○	○	
特定事業場水質調査費	12箇所	回	514,000	○	○	○	
施設内清掃業務 1F 廊下、階段、下足室	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
1F 宿直室通路、入口	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
1F トイレ	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
1F 廊下	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
1F 作業員控室	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
1F 脱衣所（前）	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
1F 水質検査室	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
2F 監視室	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
2F 廊下・階段	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
2F 男子トイレ、女子トイレ、仮眠室入口	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
2F 会議室、書庫、事務室	床面剥離洗浄ワックスがけ	m ²	370	○	○	○	
1、2F窓ガラス清掃	玄関風除け室、玄関ホール、渡り廊下、作業員控室、トイレ、監視室、事務室、会議室、仮眠室	式	85,000	○	○	○	
敷地内草刈り業務		式	1,145,454	○	○	○	
植木剪定業務		式	402,000	○	○	○	
床排水ポンプ更新 連絡管廊床排水ポンプ		台	225,000			○	
機械棟床排水ポンプ		台	415,000			○	
機械棟脱臭用活性炭交換業務 酸性ガス用活性炭		kg	1,780			○	
塩基性ガス用活性炭		kg	1,800			○	

公表単価一覧表

業務名： 矢板市下水道終末処理場等維持管理業務委託

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
中性ガス用活性炭		kg	1,900			○	
交換作業費		式	900,000	○	○		
試運転調整費		式	50,000	○	○		
ガス濃度検知管測定費		式	50,000	○	○		
機器損料費		式	180,000	○			
安全対策費		式	85,000		○		
雑材消耗品費		式	90,000			○	
沈砂池棟脱臭用活性炭交換業務 酸性ガス用活性炭		kg	1,780			○	
塩基性ガス用活性炭		kg	1,800			○	
中性ガス用活性炭		kg	1,900			○	
交換作業費		式	900,000	○	○		
試運転調整費		式	50,000	○	○		
ガス濃度検知管測定費		式	50,000	○	○		
機器損料費		式	180,000	○			
安全対策費		式	85,000		○		
雑材消耗品費		式	90,000			○	
ライフゼム点検 空気呼吸用ボンベ耐圧検査、空気充填	スチール製	本	15,000	○	○	○	
空気呼吸用ボンベ耐圧検査、空気充填	FRP製	本	21,000	○	○	○	
沈渣池棟No. 1ポンプ井攪拌機更新 機器費	水中攪拌機	台	1,930,000			○	
既設搬出及び搬入据付		人	60,000	○	○	○	
機材損料		式	38,000	○			
移動発電機レンタル 発電機		月	62,173	○			
発電機固定用レバールック		月	3,000	○			
ダンプ 2 t		月	87,390	○			
消防用設備等保守点検業務 保守点検費（総合点検）		回	53,000	○	○		

公表単価一覧表

業務名：矢板市下水道終末処理場等維持管理業務委託

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
保守点検費（外観機能）		回	53,000	○	○		
自家用電気工作物保安管理業務 保安管理業務委託手数料		月	34,675	○	○		
年次点検割増手数料	早朝実施割増	回	73,000	○	○		
	割増増員	回	345,000	○	○		
管理棟・沈砂池棟機械警備業務 機械警備業務費	管理棟	式	492,000	○	○		
	沈砂池棟	式	336,000	○	○		
薬品等購入 高分子凝集剤		kg	1,950			○	
消臭剤		kg	2,000			○	
無機消臭剤		kg	480			○	
次亜塩素酸ソーダ		kg	105			○	
固形塩素	(15kg/箱)	箱	25,000			○	
A重油		kg	100			○	
油脂類		式	150,000			○	
水質分析用試薬及び器具		式	800,000			○	
チャート紙・リボン		式	50,000			○	
Vベルト等消耗品		式	150,000			○	
沢地区水処理センター 薬品費 固形塩素	(15kg/箱)	箱	25,000			○	
下水流入水検査費	6項目	回	10,500	○	○		
下水放流水検査費	16項目	回	36,250	○	○		
境林地区水処理センター 薬品費 固形塩素	(15kg/箱)	箱	25,000			○	
下水流入水検査費	6項目	回	10,500	○	○		
下水放流水検査費	16項目	回	36,250	○	○		
自家用電気工作物保安管理業務 保安管理業務委託手数料		月	10,830	○	○		
清掃業務		回	30,000	○	○	○	
消防用設備等保守点検業務 機器点検		回	8,000	○	○		

公表単価一覧表

業務名：矢板市下水道終末処理場等維持管理業務委託

名称	規格	単位	単価：円	適用区分			備考
				機	労	材	
総合点検		回	9,000	○	○		
コリーナ矢板水処理センター 薬品費 固形塩素	(15kg/箱)	箱	25,000			○	
し渣処分費		kg	400	○	○		
汚泥引抜処分費		m3	11,000	○	○		
下水流入水検査費	4項目	回	6,500	○	○		
下水放流水検査費	16項目	回	36,250	○	○		
自家用電気工作物保安管理業務 保安管理業務委託手数料		月	46,075	○	○		
清掃業務		回	30,000	○	○	○	

(備考)

- 1 本表に記載されている単価は、見積りにより決定したものである。
- 2 適用区分に○印があるものは、下記の価格を示す。
「機」：機械器具等の損料または賃料
「労」：労務費
「材」：材料費

矢板市下水道終末処理場等維持管理業務委託契約書(案)

(総則)

第1条 矢板市下水道事業管理者（以下「委託者」という。）と受託者は、この契約書に基づき、別添の業務委託仕様書、特記仕様書、流入実績等に関する特記仕様書、業務委託仕様書に係る資料及び要求水準書（以下「仕様書等」という。）に従い、この契約を履行しなければならない。

2 受託者は、契約書記載の業務（以下「委託業務」という。）を契約書記載の委託契約の履行期間内に履行するものとし、委託者は、その委託料を支払うものとする。

3 この契約の履行に関して委託者及び受託者間で用いる言語は、日本語とする。

4 この契約書に定める金銭の支払に用いる通貨は、日本円とする。

5 この契約書及び仕様書等における期間の定めについては、この契約書または仕様書等に特別の定めがある場合を除き、民法（明治29年法律第89号）及び商法（明治32年法律第48号）の定めるところによるものとする。

6 この契約は、日本国の法令に準拠するものとする。

7 この契約に係る訴訟の提起又は調停の申立てについては、委託者の所在地を管轄する日本国の裁判所をもって合意による専属的管轄裁判所とする。

8 この契約書に定める指示、請求、通知、報告、届出、申出、承諾、質問、回答及び解除（以下「指示等」という。）は、書面により行わなければならない。

9 前項の規定にかかわらず、緊急やむを得ない事情がある場合には、委託者及び受託者は、前項に規定する指示等を口頭で行うことができる。この場合において、委託者及び受託者は、既に行った指示等を書面に記載し、これを相手方に交付するものとする。

10 委託者及び受託者は、この契約書の他の条項の規定に基づき協議を行うときは、当該協議の内容を書面に記録するものとする。

11 委託者は、その意図する業務を完了させるため、業務に関する指示を受託者又は受託者の業務総括責任者に対して行うことができる。この場合において受託者又は受託者の業務総括責任者は、当該指示に従い業務を行わなければならない。

12 受託者は、この契約書若しくは仕様書等に特別の定めがある場合又は前項の指示若しくは委託者及び受託者で協議がある場合を除き、業務を完了するために必要な一切の手段をその責任において定めるものとする。

13 この契約の履行に関して委託者及び受託者間で用いる計量単位は、仕様書等に特別定めがある場合を除き、計量法（平成4年法律第51号）に定めるものとする。

（委託）

第2条 委託者は、次の委託業務の実施を受託者に委託し、受託者は、これを受託するものとする。

(1) 矢板市下水道事業（公共下水道事業、農業集落排水事業及びコリーナ矢板排水処理事業）が管理する各水処理センター及びマンホールポンプ場等の維持管理業務

(2) (1)に係る維持管理業務で仕様書等に定めるもの

（委託期間）

第3条 この契約による委託期間は、令和8年4月1日から令和13年3月31日までとする。

2 契約締結の日から業務開始の前日までを、委託業務を行うための引継ぎを受ける準備期間（以下「業務準備期間」という。）とする。

（委託料）

第4条 委託者は、受託者に対し業務の対価として委託料を支払う。委託料は、金
円（うち消費税及び地方消費税の額 円）とする。

2 委託料は、契約金額を委託期間で分割し、別紙（支払内訳書）のとおり月払いとする。

（契約保証金）

第5条 委託者は、受託者が納付すべき契約保証金を免除する。

(委託業務の処理方法)

第6条 受託者は、この契約書に定めるもののほか、仕様書等に従い、日本国の法令を遵守し、この契約を履行しなければならない。

(権利義務の譲渡等の禁止)

第7条 受託者は、この契約から生ずる権利又は義務をあらかじめ書面により委託者の承諾を得た場合を除き第三者に譲渡し、若しくは担保の目的に供し、又は引き受けさせてはならない。ただし、信用保証協会法（昭和28年法律第196号）に規定する信用保証協会及び中小企業信用保険法施行令（昭和25年政令第350号）第1条の2に規定する金融機関に対して売掛債権を譲渡する場合にあっては、この限りでない。

2 前項ただし書の規定により売掛債権の譲渡を行った場合、委託者の対価の支払による弁済の効力は、委託者が、矢板市財務規則（昭和51年矢板市規則第41号）第45条第1項に基づく確認を行い、支出命令確認の登録を行った時点で生ずるものとする。

3 受託者は、受託者が委託者に対して提供した業務に伴う成果品（この契約書及び仕様書等に定める業務履行計画書等、業務完了報告書その他業務記録及びデータを含む。以下「成果品」という。）を第三者に譲渡、貸与又は質権その他の担保の目的に供してはならない。

(再委託の禁止)

第8条 受託者は、委託業務の全部若しくは一部を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ書面により委託者の承諾を受けたときは、この限りでない。

2 委託者は、受託者に対して、業務の一部を委任し、又は請負寄せた者の商号又は名称その他必要な事項の通知を請求することができる。

(委託業務の実施場所)

第9条 委託業務の実施場所は、次のとおりとする。

- (1) 矢板市安沢 3617 矢板市水処理センター
- (2) 矢板市沢 282-1 沢地区水処理センター

- (3) 矢板市木幡 1653-2 境林地区水処理センター
- (4) 矢板市石関 1121-80 コリーナ矢板浄化センター
- (5) (1) から (4) に係るマンホールポンプ設備

(施設等の使用)

第 10 条 受託者は、この委託の履行に必要な委託者の所有する施設、物品等を、無償で利用できるものとする。なお、施設、物品等の使用に当たって、事前に公有財産使用許可申請書を提出するとともに受託者は、善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

2 受託者は、自己の故意または、過失により貸与品が滅失し、若しくは毀損または、その返還が不可能になった場合には、委託者の指定する期間内に代品を納め、若しくは原状に復し、又は、損害を賠償しなければならない。

3 受託者は、事務室の使用に伴うエネルギー等の使用に当たっては、節約に努めなければならない。

(業務遂行上の責任者)

第 11 条 受託者は、業務履行について業務内容の管理をつかさどる業務総括責任者を定め、氏名その他必要な事項を、委託者に書面により契約締結後 7 日以内に提出するものとする。また、業務総括責任者の変更が必要な場合は、委託者の承諾を受け、同様に提出しなければならない。

2 業務総括責任者は、この契約の履行に関し、その運営、取締りを行うほか、契約金額の変更、履行期間の変更、契約代金の請求及び受領、業務関係者に関する措置請求並びに契約の解除に係る権限を除き、この契約に基づく一切の権限を行使することができる。

(監督員)

第 12 条 委託者は、監督員を定め書面をもってその氏名を受託者に通知しなければならない。その者を変更したときも同様とする。

2 監督員は、この契約書に基づく委託者の権限とされる事項のうち委託者が必要と認めて監

督員に委任したもののほか、仕様書等に定めるところにより、次に掲げる権限を有する。

- (1) 委託者の意図する業務を完了させるための受託者又は受託者の業務総括責任者に対する業務に関する指示
- (2) この契約書及び仕様書等の記載内容に関する受託者の確認の申出又は質問に対する承諾又は回答
- (3) この契約の履行に関する受託者又は受託者の業務総括責任者との協議
- (4) 業務の進捗の確認、仕様書等の記載内容と履行内容との照合その他契約の履行状況の監督

(業務処理状況の報告及び検査)

第 13 条 受託者は、各月ごとの委託業務完了後、仕様書に基づき月間作業実績書・業務完了報告書（月報）を作成し、翌月の 5 日までに委託者へ提出するものとする。

2 受託者は、各年度の委託業務完了後 5 日以内に、業務委託仕様書に基づき業務完了報告書（年報）を作成し、委託者に提出するものとする。ただし、最終年度については 3 月末日までとする。

3 委託者は、受託者から第 1 項の月間作業実績書・業務完了報告書（月報）の提出を受けたときは、その日から 5 日以内に当該実績書・完了報告書の内容を検査しなければならない。

4 受託者は、前項の検査に合格しないときは、直ちに是正し再検査を受けなければならない。

(業務の調査等)

第 14 条 受託者は、受託者の技術者について、当該委託業務に就業するまでに委託者が必要とする資料等を提出しなければならない。

2 委託者は、必要があると認めたときは、受託者に対して委託業務の実施状況につき、調査を行い、又は報告を求めることができる。

3 委託者は、前項の調査又は報告により必要と認めたときは、委託事務の処理に関して受託者に必要な指示を与えることができる。

(委託料の請求及び支払)

第 15 条 受託者は、第 13 条第 3 項の検査に合格したときは、委託者に委託料を請求することができる。

2 委託者は、受託者が提出する適法な請求書を受理した日から 30 日以内に委託料を受託者に支払うものとする。

(委託料の変更)

第 16 条 委託者及び受託者は、この契約書及び仕様書等に定めた業務の内容又は社会経済状況の変化に応じて委託料を変更できるものとする。

2 前項の委託料の変更については、委託者及び受託者で協議して行うものとする。

(債務不履行の場合の損害金)

第 17 条 受託者は、この契約に定める義務を履行しないため、委託者に損害を与えたときは、その損害に相当する金額を損害賠償として委託者に支払わなければならない。

(一般的損害)

第 18 条 委託業務の実施中に生じた損害は、受託者の負担とする。ただし、その損害が委託者の責めに帰すべき事由による場合は、この限りでない。

(履行不能の場合の処置)

第 19 条 受託者は、天災その他受託者の責めによらない事由により契約の全部又は一部を履行することができないときは、委託者の承認を得て、当該部分の義務を免れるものとし、委託者は、当該部分についての委託料の支払を免れるものとする。

(要求水準を達成できなかった場合における違約金)

第 20 条 受託者の責に帰すべき理由により要求水準書に規定する遵守基準を達成できなかった場合は、委託者は、受託者と協議のうえ、違約金を請求することが出来る。

2 前項の違約金の額は、委託料から消費税等相当額差し引いた額を委託契約期間の日数（年

当たりの日数は閏年の日を含む期間についても、365日とする。)で割り返した1日当たりの業務委託料に、遵守基準を超えた日から目標基準まで回復したことが確認された日までの日数を乗じて計算した額(100円未満の端数があるとき又は100円未満であるときは、その端数額又はその全額を切り捨てる。)に消費税等相当額を加えた額とする。

3 前項の違約金の計算の基礎となる日数には、検査に要した日数を算入しない。

(履行遅滞)

第21条 受託者は、その責めに帰すべき理由により、各会計年度の末日までに、当該会計年度の業務を完了できないときは、その期日の経過した日の翌日から業務を完了する日までの日数に応じ、第4条の委託料のうち当該会計年度の委託料に対し年2.4%を乗じて計算した遅延賠償金を委託者に支払わなければならない。

2 前項の規定は、契約期間の最終会計年度の業務については、「各会計年度の末日」を「契約期間の末日」と読み替えて適用するものとする。

3 前項の日数には、検査に要した日数を算入しない。

(秘密の保持)

第22条 委託者及び受託者は、委託業務の遂行上知り得た相手方固有の業務上又は技術上の秘密情報を第三者に漏洩してはならない。この契約が完了し、又は解除された後においても、同様とする。

2 受託者は、委託者が所有する成果品(未完の成果物及び業務を行う上で得られた記録等を含む。)を委託者の許可なく複写し、又は複製してはならない。

3 受託者は、委託者が所有する成果品(未完の成果物及び業務を行う上で得られた記録等を含む。)をこの契約の履行目的外に使用し、又は第三者に閲覧、複写又は譲渡してはならない。

(個人情報の保護)

第23条 受託者は、本契約による業務を処理するための個人情報(個人に関する情報(氏名、住所、生年月日、本籍地等の基本的な情報はもとより、思想、信条、信仰、趣味等に関する情報、職業、資格、学歴等に関する情報、収入、財産状態等に関する情報、健康状態、病歴等に

関する情報など個人に関するすべての情報をいう。)であって、特定の個人が識別され、又は識別され得るものをいう。)の取扱いについては、矢板市個人情報保護条例(平成17年条例29号)を遵守しなければならない。

(事故報告)

第24条 受託者は、この委託業務の履行に関し事故等を生じた場合は、直ちに委託者に事故等の状況を報告しなければならない。

(委託者の解除権)

第25条 委託者は、受託者が次の各号の一に該当する場合、催告なしにこの契約の全部又は一部を解除することができる。

- (1) 受託者がこの契約に違反したとき。
- (2) この契約の履行について、受託者又はその代理人に不正の行為があったとき。
- (3) 受託者が故意又は過失により委託者に重大な損害を与えたとき。
- (4) 受託者がこの契約に違反するおそれがあると委託者が認めたとき。
- (5) 受託者がこの契約を履行することができないと委託者が認めたとき。
- (6) 受託者が次のいずれかに該当するとき。

ア 役員等(乙が法人である場合にはその役員又はその支店若しくは常時本契約案件の業務等の契約を締結する事務所の代表者をいう。以下この号において同じ。)が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「暴力団対策法」という。)第2条第6号に規定する暴力団員(以下この号において「暴力団員」という。)であると認められるとき。

イ 暴力団(暴力団対策法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下この号において同じ。)又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。

ウ 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。

エ 役員等が暴力団又は暴力団員に対して資金等を供与し、又は便宜を供与するなど直接的あ

るいは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。

オ 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

カ 再委託契約その他の契約にあたり、その相手方がアからオまでのいずれかに該当することを知りながら、当該者と契約を締結したと認められるとき。

キ 受託者が、アからオまでのいずれかに該当する者を再委託契約その他の契約の相手としていた場合（カに該当する場合を除く。）に、委託者が受託者に対して当該契約の解除を求め、受託者がこれに従わなかったとき。

2 前項の規定によりこの契約が解除された場合は、受託者は、違約金として委託者の定める金額を委託者に支払うものとする。この違約金の徴収は、委託者の損害賠償の請求を妨げないものとする。

3 委託者は、第1項の規定によりこの契約を解除した場合において、受託者に生じた損害があっても、これを一切賠償しないものとする。

（予算削減に係る契約の解除等）

第26条 委託者は、翌年度以降の委託者の歳入歳出予算において、受託者に支払うべき委託料について減額又は削除があったときは、契約を変更又は解除することができる。

2 前項の規定により委託者がこの契約を解除した場合において、受託者に損害を与えたときは、受託者は、その損害の賠償を委託者に対して請求することができる。

（受託者の解除権）

第27条 受託者は、委託者がこの契約に違反し、その違反によってこの契約の履行が不可能となったときはこの契約を解除することができる。

2 受託者は、前項の規定により契約を解除した場合において、損害があるときは、その損害の賠償を委託者に請求することができる。この場合における賠償額は、委託者及び受託者で協議して定める。

(解除に伴う措置)

第 28 条 委託者は、契約が解除された場合においては、業務完了部分を検査の上、当該検査に合格した部分の業務完了報告書の提出を受けるものとし、当該業務完了報告書を受けたときは、当該引渡しを受けた部分に相応する委託料を受託者に支払わなければならない。

2 受託者は、契約が解除された場合において、支給材料があるときは、第 1 項の検査に合格した部分に使用されているものを除き、委託者に返還しなければならない。この場合において、当該支給材料が受託者の故意若しくは過失により滅失若しくは毀損したとき、又は検査に合格しなかった部分に使用されているときは、代品を納め、若しくは原状に復して返還し、又は返還に代えてその損害を賠償しなければならない。

3 受託者は、契約が解除された場合において、貸与品があるときは、当該貸与品を委託者に返還しなければならない。この場合において、当該貸与品が受託者の故意又は過失により滅失又は毀損したときは、代品を納め、若しくは原状に回復して返還し、又は返還に代えてその損害を賠償しなければならない。

4 受託者は、契約が解除された場合において、委託業務用地等に受託者が所有又は管理する委託業務材料、委託業務に係る機械器具、仮設物その他の物件があるときは、受託者は、当該物件を撤去するとともに、委託業務用地等を修復し、取り片付けて、委託者に明け渡さなければならない。

5 前項の場合において、受託者が正当な理由なく、相当期間内に当該物件を撤去せず、又は委託業務用地等の修復若しくは取り片付けを行わないときは、委託者は、受託者に代わって当該物件を処分し、委託業務用地等を修復若しくは取り片付けを行うことができる。この場合においては、受託者は、委託者の処分又は修復若しくは取り片付けについて異議を申し出ることができず、また、委託者の処分又は修復若しくは取り片付けに要した費用を負担しなければならない。

6 第 2 項前段及び第 3 項前段に規定する受託者のとるべき措置の期限、方法等については、契約の解除が第 25 条の規定によるときは委託者が定め、前条の規定によるときは、受託者が委託者の意見を聴いて定めるものとし、第 2 項後段、第 3 項後段及び第 4 項に規定する受託者の取るべき措置の期限、方法等については、委託者が受託者の意見を聴いて定めるものとする。

(業務の引き継ぎ)

第 29 条 受託者は、業務準備期間において水処理センター等の運転が正常に稼働できるよう委託者と協議を行い、前受託者から委託業務を行うための引継ぎを受けなければならない。なお、引継ぎを受けるにあたり必要な経費は、受託者の負担とする。

(変更の届出)

第 30 条 受託者は、商号又は名称、代表者、住所、印章その他この契約の当事者としての事項について、変更が生じたときは、直ちに書面によって、委託者に届出なければならない。

2 前項の届出を怠ったため、委託者からなされた通知又は送付された書類等が延着し又は到達しなかった場合には、通常到達すべき時にそれらが受託者に到達したものとみなす。

(契約の費用)

第 31 条 この契約の締結に要する費用は、受託者の負担とする。

(信義則)

第 32 条 委託者及び受託者は、信義を重んじ、誠実にこの契約を履行しなければならない。

(疑義等の決定)

第 33 条 この契約に定めのない事項及びこの契約に疑義が生じたときは、委託者と受託者で協議して定めるものとする。

(談合その他の不正行為に係る賠償額の予定)

第 34 条 この契約に関し、受託者が、次に掲げる場合のいずれかに該当したときは、受託者は、委託者の請求に基づき、請負代金額（本契約締結後、請負代金額の変更があった場合には、変更後の請負代金額）の 10% に相当する額を損害賠償金として委託者の指定する期間内に支払わなければならない。

(1) 本契約に関し、受託者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和 22

年法律第 54 号。以下「独占禁止法」という。) 第 3 条の規定に違反し、又は受託者が構成事業者である事業者団体が独占禁止法第 8 条第 1 項第 1 号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が受託者に対し、独占禁止法第 7 条の 2 第 1 項の規定に基づく課徴金の納付命令を行い、当該納付命令が確定したとき。

(2) 本契約に関し、受託者（法人の場合にあつては、その役員又は使用人を含む。）の刑法（明治 40 年法律第 45 号）第 9 6 条の 6 又は独占禁止法第 8 9 条第 1 項若しくは第 9 5 条第 1 項第 1 号に規定する刑が確定したとき。

(3) その他入札談合行為があったと認められるとき。

2 前項の規定は、委託者に生じた損害の額が同項に規定する損害賠償金の額を超える場合において、委託者がその超過分につき賠償を請求することを妨げるものではない。

3 受託者がこの契約に基づく損害賠償金を委託者の指定する期間内に支払わないときは、委託者は、その支払わない額に委託者の指定する期間を経過した日から支払をする日までの期間について、その日数に応じ、年 2. 4 %の割合で計算した額の遅延利息を乙から徴収する。

この契約の締結を証するため、この契約書を 2 通作成し、委託者及び受託者両者記名押印の上、各自その 1 通を保有するものとする。

令和 年 月 日

委託者 栃木県矢板市本町 4 番 3 9 号
矢板市下水道事業管理者
矢板市長 森島 武芳

受託者

契約書第4条別表

支払い回数	月	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
1	4月					
2	5月					
3	6月					
4	7月					
5	8月					
6	9月					
7	10月					
8	11月					
9	12月					
10	1月					
11	2月					
12	3月					
年度計						

矢板市下水道終末処理場等維持管理業務委託仕様書

第1章 総則

(目的)

第1条 この仕様書は、市が発注する下水道終末処理場、農業集落排水処理施設、コリーナ矢板排水処理施設及びマンホールポンプ場等の維持管理業務に適用するものであり、委託業務を適正かつ円滑に実施するために必要な事項を定めることを目的とする。

(対象施設)

第2条 委託業務の対象施設は、下記のとおりとする。なお、マンホールポンプ場等は新たな設置等により変更となることがある。

(1) 下水道終末処理場

- ・矢板市水処理センター
- ・マンホールポンプ（17 か所）

(2) 農業集落排水処理施設

- ・沢地区水処理センター
- ※マンホールポンプ（1 か所）
- ・境林地区水処理センター
- ※マンホールポンプ（5 か所）

(3) コリーナ矢板排水処理施設

- ・コリーナ矢板水処理センター
- ※マンホールポンプ場（5 か所）

(業務の履行)

第3条 受託者は、下水道法、水質汚濁防止法、浄化槽法及びその他関係法令を遵守するとともに、処理施設の機能を十分に達成出来るよう、誠実に業務を履行しなければならない。

2 本業務の履行期間は、令和8年4月1日から令和13年3月31日までとする。

3 契約締結日から令和8年3月31日までを、委託業務を行うための引継を受ける準備期間（以下「業務準備期間」という。）とする。

(業務の内容)

第4条 業務の主な内容は次に掲げる事項とし、処理場の維持管理と運転に必要な全ての作業とする。

- (1) 水処理施設、汚泥処理施設、建築付帯設備、場外中継ポンプ場施設、場外流量計施設の運転操作監視及び機器の保守点検・整備・補修・清掃
 - (2) 運転操作に必要な水質検査
 - (3) 汚泥の搬出处分に伴う作業
 - (4) し渣、沈砂の搬出处分に伴う作業
 - (5) 法定水質検査等の手続き及び事務代行
 - (6) 凝集剤、消臭剤及び滅菌剤等の薬品の購入
 - (7) 場内の整理及び整頓・清掃
 - (8) 来場者の対応及び軽易な見学者の対応
 - (9) 処理場の災害、盗難等の予防
 - (10) 上記の業務の記録、整理及び報告
 - (11) 水処理センターの電気・電話・水道・ガス料金の支払い
 - (12) マンホールポンプ場・場外流量計施設の電気・電話料金の支払い
- 2 農業集落排水処理施設（沢地区、境林地区）に係る業務内容は別紙１のとおりとする。
- 3 コリーナ矢板排水処理施設に係る業務内容は別紙２のとおりとする。

（処理場の維持管理）

第５条 前条における処理場の維持管理とは、下水道法施行令第１３条をいう。

（受託者の資格等）

第６条 次に掲げる地方公共団体の公共下水道又は流域下水道の水処理施設の運転管理業務を平成１７年度以降に５年以上元請けとして受託した実績があること。

（１）標準活性汚泥法を用いる水処理施設又は同等以上の処理方法を用いる水処理施設

2 次に掲げるものを矢板市水処理センターに専任で配置できる者であること。

（１）業務総括責任者 下水道法施行令第１５条の３で定める資格を有する者であり、下水道終末処理場等の総括責任者又は副総括責任者としての実務経験が２年以上であること。

（業務総括責任者の職務）

第７条 業務総括責任者の職務は、次のとおりとする。

（１）業務遂行上の責任者として、業務従事者の指揮監督を行うとともに、業務を適切且つ円滑に遂行しなければならない。

（２）契約書、仕様書、その他関係書類により業務の目的、内容等を十分理解して効果的、経済的な運転に努めなければならない。

- (3) 日常の業務執行状況を随時、監督員に報告すること。
- (4) 業務従事者を教育し、技術の向上、労働安全及び保健衛生管理を十分行うとともに、事故の防止に努めなければならない。

(有資格者の配置)

第8条 受託者は、業務従事者のなかに、次の有資格者を配置しなければならない。

- (1) 下水道技術検定第3種
- (2) 酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習修了者
- (3) 第二種電気工事士
- (4) 乙種第4類危険物取扱者
- (5) 小型移動式クレーン技能講習修了者
- (6) 玉掛け技能講習修了者
- (7) 特定化学物質等作業主任者
- (8) 浄化槽法第10条第2項に規定する技術管理者
- (9) その他労働安全衛生法に係る必要な資格

(法定資格者の選任)

第9条 受託者は、業務の実施に必要な次の法定資格者を選任しなければならない。

- (1) 酸素欠乏危険作業主任者
- (2) 危険物取扱主任者

(再委託先の届出)

第10条 受託者は業務の一部を再委託する場合、業務の着手に先立ち、あらかじめ再委託届により市の承諾を得なければならない。

(緊急時の対応)

第11条 受託者は、緊急事態が発生した場合の体制を確立しておかななければならない。

2 緊急事態が発生したときは、市の定める「矢板市公共下水道の維持管理における非常時対応要領」に基づき必要な措置を行わなければならない。

第2章 業務書類

(提出書類)

第12条 受託者は、業務の契約後、速やかに次の書類（資料-1に定める項1, 4, 5）を

市に提出し、承諾を受けなければならない。

- (1) 業務履行計画書（年間計画）
- (2) 業務総括責任者選任届
- (3) 公有財産使用許可申請書（事務室等の使用）
- (4) その他必要なもの
- (5) 就業時間、就業日

2 業務総括責任者は、次の書類（資料－１に定める項２，３，６）を監督員に提出しなければならない。

- (1) 月間作業計画書
- (2) 月間作業実績書
- (3) 業務完了報告書（年報含む）

3 前各項の提出書類に変更が生じたときは、直ちに変更届を提出しなければならない。

（業務履行計画書）

第 13 条 業務履行計画書は次のとおりとする。

- (1) 品質に関すること
- (2) 業務概要に関すること
- (3) 業務従事者とその業務分担に関すること
- (4) 業務工程に関すること
- (5) ユーティリティ（薬品、燃料等）の調達・使用に関すること
- (6) 安全衛生の確保に関すること
- (7) 業務従事者の教育及び訓練に関すること
- (8) 各種報告書様式
- (9) その他必要事項

2 受託者は、業務履行計画書の内容に重要な変更が生じたときは、変更業務履行計画書を市に提出しなければならない。

（業務に関する報告書）

第 14 条 業務総括責任者は、業務に関する報告書を次のとおり提出しなければならない。

- (1) 月報類（月間作業計画書、月間作業実績書、業務完了報告書）・・・翌月の５日まで
- (2) 年報類（運転年報、業務年間報告書）・・・翌月の５日まで
- (3) その他（故障・不具合報告書、緊急時対応報告書等）・・・速やかに

2 前項の（１）（２）において、提出期限が土曜、日曜、祝日の場合はその翌日とする。た

だし、最終年度の3月月報類及び年報類については3月末日までとする。

(業務履行記録書類)

第15条 業務総括責任者は、業務履行計画書に基づき業務の履行に関する必要書類(資料1に定める項7～19)を作成し、監督員が閲覧できる状態で保管しなければならない。

- (1) 業務日報
- (2) 日常点検表
- (3) 週間点検表
- (4) 脱水機運転日報
- (5) 中央監視記録
- (6) 電気室記録
- (7) 各機器月例点検表
- (8) 電気設備月例点検表
- (9) 電気計装設備・マンホール定期点検表
- (10) 蓄電池点検測定記録表
- (11) 発電機運転記録表
- (12) 場外中継ポンプ場・場外流量計施設点検表
- (13) 各機器年点検表

2 業務総括責任者は、事故、故障、修理箇所等必要と思われる記録写真を撮影し、監督員に求められたときには速やかに提出できるように保管しなければならない。

第3章 作業要領

(運転操作監視業務)

第16条 受託者は、市が貸与した取扱説明書、操作説明書及び関係書類に基づき、各種機器の機能、使命を理解したうえで、一切の運転操作を適正に行うとともに、十分な監視並びに記録につとめ、事故防止に必要な措置を講じ、下水道法施行令第6条「放流水の水質の技術上の基準」を遵守しなければならない。

2 受託者は、集中豪雨、台風等の異常時、悪質水の流入、停電、機器故障等の緊急時の対応方法を定めた緊急対応手順書を作成し、市の承諾を得なければならない。

(放流水が放流水質基準を満足しない場合の対応)

第17条 放流水質が放流水質等に関する要求水準書に示す法定基準を満足できない場合は以下のような手続きを取るものとする。

(1) 第1段階：未達の確認、報告

受託者は、環境計測により放流水質が法定基準を満たしていないことを把握したら、速やかに市に報告する。

(2) 第2段階：改善期間、改善計画書の提出

・放流水質の法定基準未達の場合には、受託者は、原則として主体的に要求水準未達の原因究明を行う。

・原因究明、改善計画書の作成および実施にかかる費用は、受託者が負担する。ただし、「やむを得ない事態」による場合は、受託者は上記に係る費用を市に請求することができる。

・受託者は、自らの負担で行う環境計測において、改善措置の効果を確認し、放流水質の法定基準を満足できるようになるまで、改善状況を市に報告する。

(3) 第3段階：委託費の減額

流入水が原因である場合及びやむを得ない事態による場合を除き、委託費を減額することができる。

(4) 第4段階：契約解除、違約金

流入水が原因である場合及びやむを得ない事態による場合を除き、放流水質の法定基準を満足できない状態が20日以上継続する場合または改善計画書が期限内に提出されない場合や改善計画書通りに業務を行わない場合、市は契約を解除することができる。この場合、受託者は、契約書の内容に基づき、定められた違約金を支払うこととする。

2 流入水が原因である場合及びやむを得ない事態としては、以下を想定する。

- ・自然災害等により施設が破損し、処理機能が得られない場合
- ・流入水量及び流入水質が、流入水質等に関する特記仕様書に示す流入実績の最大の値を超えている状況が継続している場合
- ・悪質流入水があった場合

(対応可能な悪質流入水の対処方法)

第18条 受託者が責任を持って対処すべき事態とその対処方法は以下のとおりとする。

(1) 対応可能な悪質流入水

対応可能な悪質流入水は、以下のとおりとする。

- ・油（臭気又は色で識別できる範囲のもの）
- ・強酸性又は強アルカリ性の薬品（pH計にて検出できる範囲のもの）
- ・きょう雑物

流入ゲートにおける流入水の臭気、色やpHの監視の結果、上記に示すものが流入水に混入していることが判明した場合、受託者は以下の措置をとる。

- ・速やかに市に報告するものとする。
- ・流入物質を特定し、施設への影響を推定するとともに、被害予測に基づいた応急対策を実施し、施設を速やかに復旧させる。

（保守点検業務）

第 19 条 受託者は、日常及び定期点検業務を、業務履行計画書に基づき実施しなければならない。

- 2 異常箇所を発見したときは、速やかに監督員に報告し、対応について協議を行う。
- 3 前項の異常箇所が、市の支給する材料を用い、又は備え付け工具及び施設を使用してできる軽微な故障等の修理工作及び機器等の補修塗装である場合は、臨機の措置をとらなければならない。
- 4 前項の臨機の措置は、必要に応じて写真撮影を行い、監督員に報告するものとする。

（業務開始時の機能確認）

第 20 条 受託者は、契約締結日から履行開始日を含む 14 日前までに、対象施設の現在有する機能を示す「施設機能確認書」（以下「確認書」という。）を作成し、市に提出すること。確認書の対象とする設備及び確認書の取り纏め方法等については、市と協議するものとする。

- 2 市及び受託者は、必要に応じて双方立会いのもと、履行開始日の前日までに確認書により機能確認を行う。
- 3 受託者は、前項の機能を確認の後、その確認結果を確認書に記載し、確認終了日から 2 週間以内に市に提出しなければならない。

（業務実施期間中における機能確認）

第 21 条 市及び受託者は、必要があると認めるときは、業務期間中のいつでも、相手方に対し施設等の全部又は一部の機能確認を行うことを求めることができる。この場合においては、速やかに双方立会いのもとで確認書により機能確認を行う。

- 2 受託者は、当該機能確認が完了したときは、その確認結果を確認書に記載し、確認終了日から 2 週間以内に市に提出しなければならない。
- 3 市及び受託者は、当該機能確認の結果、所定の機能が確保されないときは、双方協議して修繕、更新その他必要な措置を行う。ただし、受託者の責めに帰すべき理由によるときは、協議のうえ受託者の責において損害賠償しなければならない。

（契約終了時の機能確認）

第 22 条 委託期間満了によりこの契約が終了するときは、市及び受託者は、契約終了日まで
に双方立会いのもとで確認書により施設等の機能確認を行う。

2 市または受託者が解除することによりこの契約が終了したときは、契約終了日から 1 5
日以内に、双方立会いのもとで確認書により施設等の機能確認を行う。

3 受託者は、前項の機能確認が完了したときは、その確認結果を確認書に記載し、確認終
了日から 2 週間以内に市に提出しなければならない。

4 受託者は当該機能確認の結果、所定の機能が受託者の責めに帰すべき理由により確保さ
れないときは、市に損害賠償をしなければならない。

(機能確認の実施時間)

第 23 条 前 3 条の機能確認については、市は、その適切な実施のために必要な技術力等を有
する機関に委託することにより、通常の業務時間内において実施することができるものとし、
受託者は、これに協力しなければならない。

(水質検査業務)

第 24 条 受託者が行う水質検査業務は、次のとおりとする。

- (1) 日常試験
- (2) 通日試験
- (3) その他運転管理に必要としたとき

2 前項各試験の標準的な検査項目、回数及び採水箇所は、資料－ 2 によるものとする。

3 水質検査方法は、下水試験方法及び環境大臣が定める排水基準に係わる検定方法等によ
るものとする。

4 受託者は、水質検査の結果を書面に記録し、監督員が提示を求めたときには速やかに提
出できるように保管しておかなければならない。

(法定水質検査等)

第 25 条 受託者は、法定水質検査を実施する公的機関もしくは計量証明分析業者を選定し、
その業者に対する事務手続きを行わなければならない。

2 法定水質検査項目、回数及び採水箇所は、資料－ 3 によるものとする。

3 水質検査方法は、下水試験方法及び環境大臣が定める排水基準に係わる検定方法等によ
るものとする。

4 受託者は、水質検査に必要な採水の補助をしなければならない。

5 受託者は、前項の検査結果の通知書を受理したときは、市に速やかに提出するものとす

る。

6 脱水ケーキ溶出試験・含有試験、し渣・沈渣溶出試験は資料3の2、資料3の3によるものとする。

(脱水ケーキ等の処分)

第26条 脱水ケーキ、沈砂及びし渣の運搬及び処分については、市が別途契約する。

2 受託者は、脱水ケーキ等の搬出及び処分量について、いつでも市に提示できるよう整理しておくものとする。

(安全衛生の確保)

第27条 受託者は、業務の履行にあたっては、安全確保に充分留意しなければならない。

2 汚水中には種々の雑菌や寄生虫が多く含まれ、また酸素欠乏や有害ガスの発生が起こる恐れがあるため、安全衛生に充分留意しなければならない。

(火災の防止)

第28条 受託者は、火元責任者を選任し、火気の始末を徹底させ、火災の防止に努めなければならない。

(盗難の防止)

第29条 受託者は、施設内における設備機器、備品、工具等の盗難及び不法侵入者の防止に努めなければならない。

(突発修繕)

第30条 受託者は当該年度ごとに150万円までの突発修繕ができるものとする。なお、修繕を実施する際は、事前に市の了解を得るものとする。

(特定事業場水質調査業務)

第31条 受託者は、特定事業場水質検査を実施する公的機関もしくは計量証明分析業者を選定し、その業者に対する事務手続きを実施しなければならない。

2 特定事業場水質調査箇所等は、資料-4に示すとおりとする。

3 受託者は、前項の検査結果の通知書を受領したときは、市に速やかに提出するものとする。

4 受託者は、水質検査に必要な採水の補助をしなければならない。

(緑地管理業務及び清掃業務)

第 32 条 受託者が行う清掃業務は、資料－ 5、資料－ 6 に示すとおりである。

(床排水ポンプ更新)

第 33 条 受託者が行う床排水ポンプ更新は、資料－ 7 に示すとおりである。

(機械棟活性炭交換業務)

第 34 条 受託者が行う機械棟活性炭交換業務は、資料－ 8 に示すとおりである。

(沈砂池棟活性炭交換業務)

第 35 条 受託者が行う沈砂池棟活性炭交換業務は資料－ 9 に示すとおりである。

(ライフゼム点検)

第 36 条 受託者が行うライフゼム点検は、資料－ 1 0 に示すとおりである。

(沈砂池棟 No. 1 ポンプ井攪拌機更新)

第 37 条 受託者が行う沈砂池棟 No. 1 ポンプ井攪拌機更新は、資料－ 1 1 に示すとおりである。

(移動発電機レンタル)

第 38 条 受託者が行う発電機レンタルは、資料－ 1 2 に示すとおりとする。

(消防設備等保守点検業務)

第 39 条 受託者は、矢板市水処理センター及び境林地区水処理センターに設置してある消防設備等の保守点検を行う業者を選定し、点検を実施しなければならない。

2 消防設備等の設置箇所は、資料－ 1 3 に示すとおりとする。

(自家用電気工作物保安管理業務)

第 40 条 受託者は、矢板市水処理センター及びコリーナ矢板排水処理施設等に設置してある自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安の監督に係る業務を行う業者を選定し、管理しなければならない。

2 対象自家用電気工作物は、資料－ 1 4 に示すとおりとする。

(休日及び夜間の処理業務の監視)

第 41 条 受託者は、休日及び夜間の処理業務を監視できる体制を確立しなければならない。

(場外中継ポンプ場・場外流量計施設点検業務)

第 42 条 受託者が行う場外中継ポンプ場・場外流量計施設点検業務は、別途特記仕様書によるものとする。

第 4 章 その他

(貸与品)

第 43 条 市は、業務の履行に必要と認めた完成図書、特殊工具等は乙に貸与する。

2 受託者は、貸与品について台帳を作成し、保管状況を明らかにしておかなければならない。

3 受託者は、貸与品を損傷、紛失した場合には弁済することとする。

(受託者が負担する経費)

第 44 条 業務に必要な経費のうち、次に掲げるものは受託者が負担するものとする。

- (1) 汚泥脱水用薬品
- (2) 脱臭用薬品
- (3) 処理水滅菌剤
- (4) 自家用発電機の燃料及び潤滑油
- (5) 機器に使用する油脂類
- (6) 清掃に使用する用具、ワックス
- (7) 記録紙
- (8) 水質検査用試薬及び消耗品類
- (9) 矢板市水処理センター及びマンホールポンプ場の電気料金
- (10) 矢板市水処理センター及びマンホールポンプ場の電話料金
- (11) 農業集落排水処理施設（沢地区、境林地区）及びマンホールポンプ場の電気料金
- (12) 農業集落排水処理施設（沢地区、境林地区）及びマンホールポンプ場の電話料金
- (13) コリーナ矢板排水処理施設及びマンホールポンプ場の電気料金
- (14) コリーナ矢板排水処理施設及びマンホールポンプ場の電話料金
- (15) 水道使用料金
- (16) ガス使用料金
- (17) 法定水質検査費用及び特定事業場水質検査費用
- (18) 機械警備に必要な費用

(19) 突発修繕に係る費用

(20) 受託者が行う機器等の軽微な修繕に係る消耗品類

2 前項の(1)(2)(3)(9)において、流入量見込みが特記仕様書に記載した水量と比較して当該年度で増減が5%以上生じたときは、協議のうえ、原因に応じてその金額を当該年度ごとに変更できるものとする。

3 第1項の(9)において、基本料金単価、電力量単価、燃料費調整単価等の社会情勢物価変動により、当該年度で増減が5%以上生じたときは、その金額を当該年度ごとに変更できるものとする。

4 第1項の(1)(2)(3)(9)において、原因として、受託者の運転操作に起因し、明らかに責があると認められ、増加使用量が5%以上に達しても市は支払いの責を負わないものとする。

5 第2項の原因として、気候、自然災害及び悪質流入水質に起因する場合は、増加使用量が5%以上に達したときは、当該年度ごとに市が支払うものとする。

6 第2項の原因として、市及び受託者の責によらないで、5%以上に達したときは、それを両者で協議することとする。

(市が負担する経費)

第45条 業務に必要な経費のうち、次に掲げるものは市が別途負担するものとする。

- (1) 汚泥等処分、収取運搬に係る経費
- (2) 工作に必要な鋼材、木材、配管材及びその補助材料
- (3) 前条第1項の(20)に定めるものを除く機器類の消耗部品
- (4) その他市が必要と認めたもの

(帳簿の整理)

第46条 受託者は、業務に必要な薬品類を購入若しくは使用したとき、受払簿により使用量及び残量を明確にし、監督員が提示を求めたときは速やかに提出できるよう管理しておかなければならない。

2 受託者は、前条(2)から(4)に基づき甲の支給する材料等を使用したときは、使用状況等を受払簿等に記録し、年に2回在庫調査をし、市に報告しなければならない。

(リスク分担)

第47条 市及び受託者のリスク分担は、資料15のとおりとする。

(前受託者からの業務引継)

第 48 条 前契約の終了により受託者に変更が生じる場合、受託者は、業務準備期間中に自らの責任において、市及び前受託者からの引継を受け、業務の履行に支障をきたすことのないように対処しなければならない。

2 業務引継に要する費用は、受託者の負担とする。

3 業務引継に要する業務時間は、原則午前 8 時 30 分から午後 5 時 15 分の間とする。ただし、それ以外の業務時間において引継を必要とする場合は、市、前受託者及び受託者で協議を行う。

4 受託者は、業務引継完了後に業務引継確認書を市に提出しなければならない。

5 受託者は、履行期間において前受託者から業務引継の内容の確認等が必要となった場合は、受託者の負担により、業務の履行に支障をきたすことのないようただちにに対処しなければならない。

(次受託者への業務引継)

第 49 条 受託者は、履行期間を通じて業務引継書を作成するものとする。業務引継書は、業務対象施設固有の運転管理手法や保守点検上の留意点等を、次受託者が把握可能なように、以下の項目の内容を記載するものとする。

- (1) 設備及び機器の機能状況及び留意すべき特性等
- (2) 各機器の振動及び異音の状態
- (3) 定常時及び非定常時の計装設備の調節及び設定状況
- (4) 対象設備特有の運転操作方法、運転上特別な操作及び運用方法
- (5) 緊急事態発生時における対応方法
- (6) その他留意事項

2 契約の終了により受託者に変更が生じる場合、受託者は、委託業務終了前の市が定める期間において、委託業務に係る技術指導を含む全ての事項について、次受託者に業務引継を行わなければならない。

3 受託者は、前項が記載された業務引継書をもって次受託者の業務の履行に支障をきたさぬよう引継ぐとともに、技術指導を行うものとする。なお、契約終了後においても、その内容について次受託者から説明等の申し出があった場合、受託者は誠意をもって対応しなければならない。

4 業務引継は、受託者、市及び次受託者で行い、受託者は業務引継完了後に業務引継確認書を市に提出しなければならない。

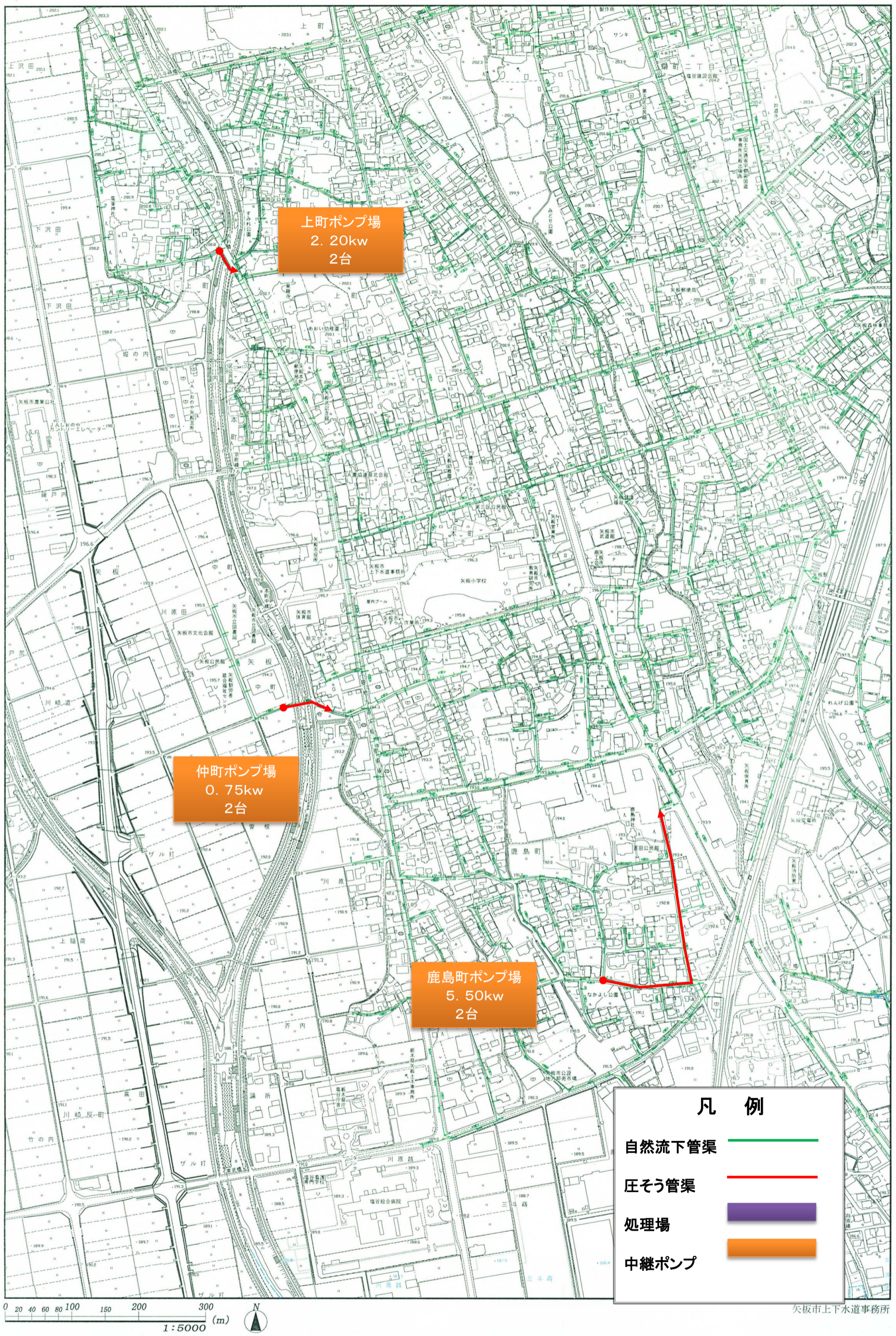
(疑義等)

第 50 条 本仕様書に疑義が生じた場合、又は明示されていない事項については、市及び受託者両方で協議し定める。

位置図



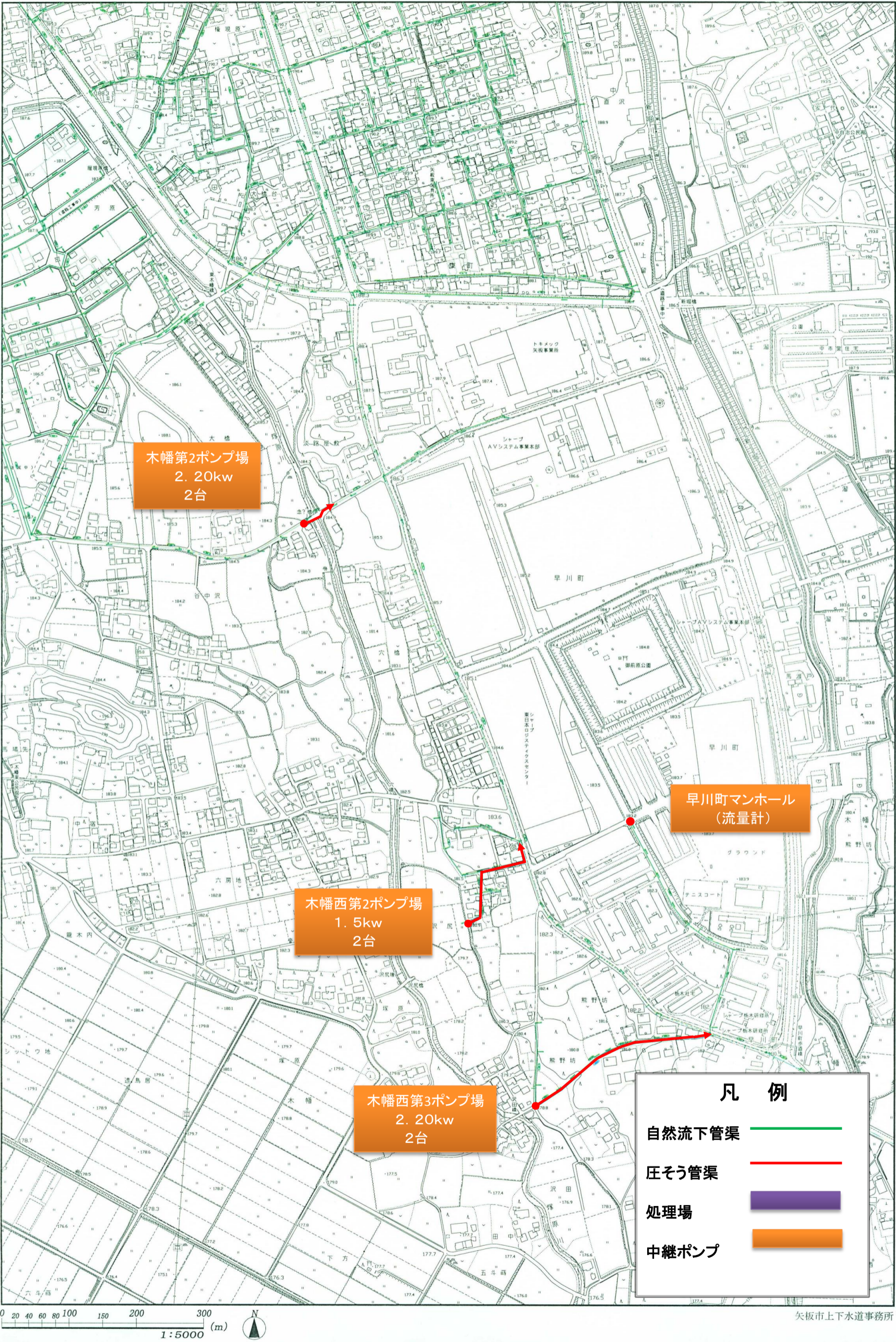
公共下水道排水施設図①



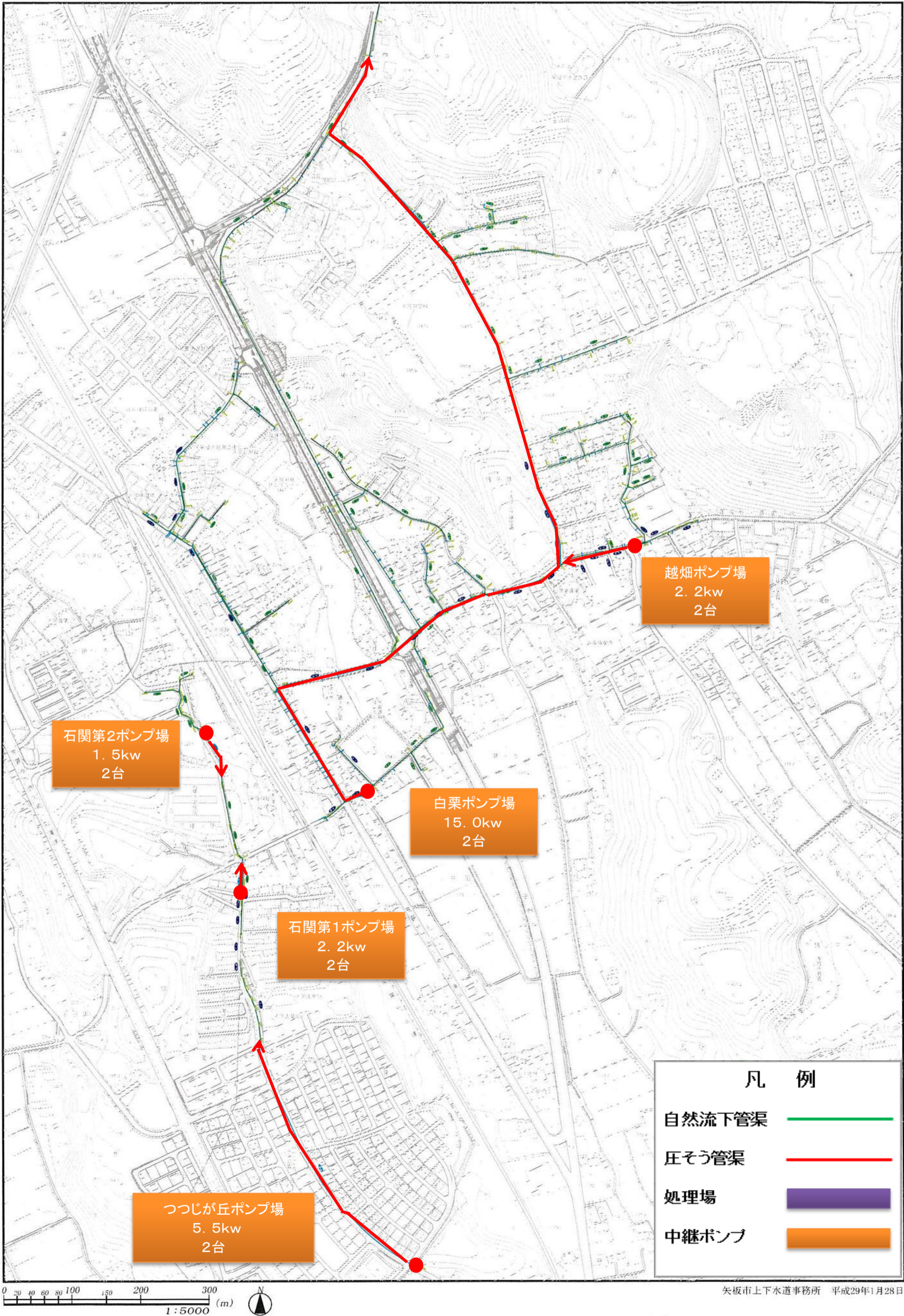
公共下水道排水施設図②



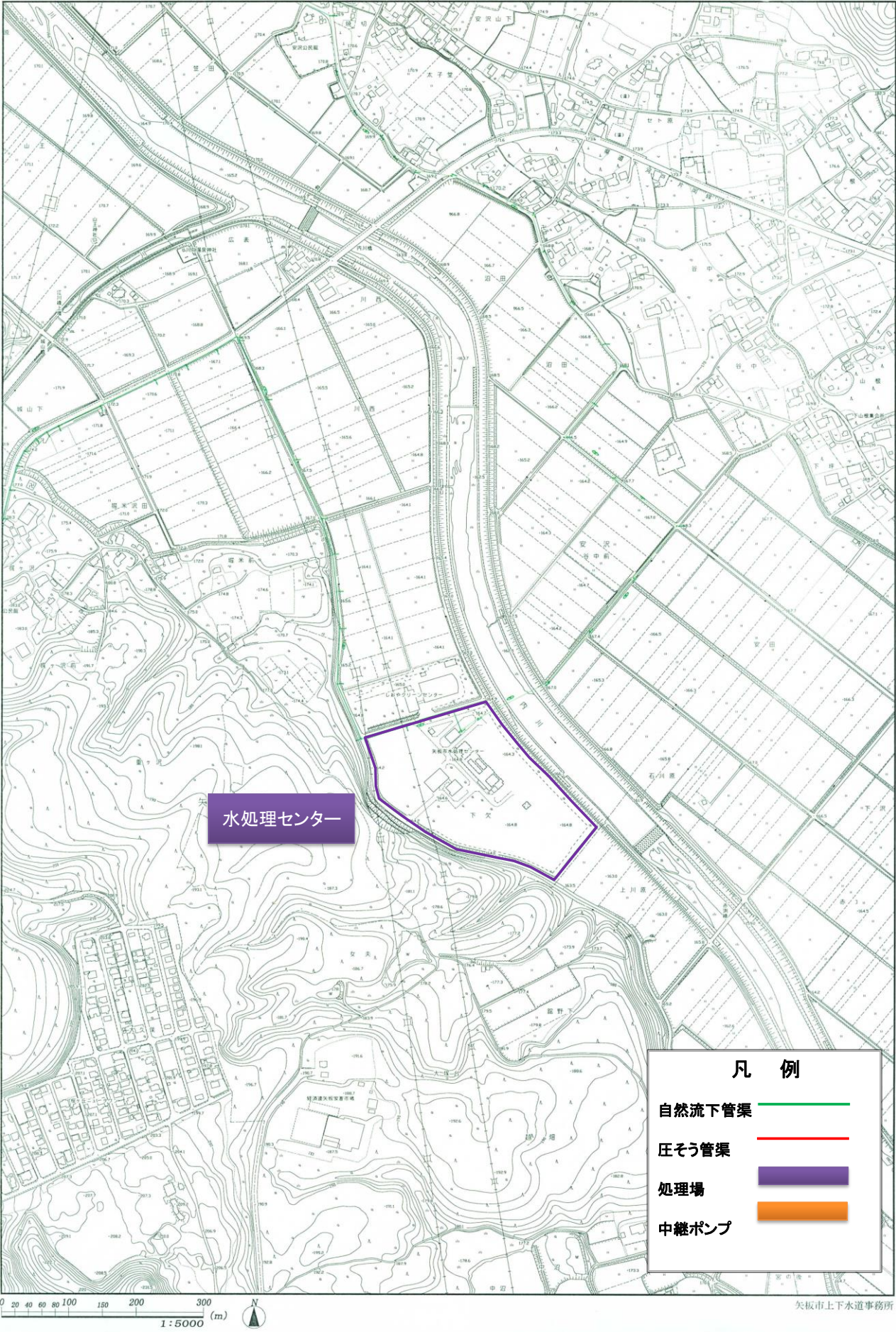
公共下水道排水施設図③



公共下水道排水施設図④



公共下水道排水施設図⑤



位置図

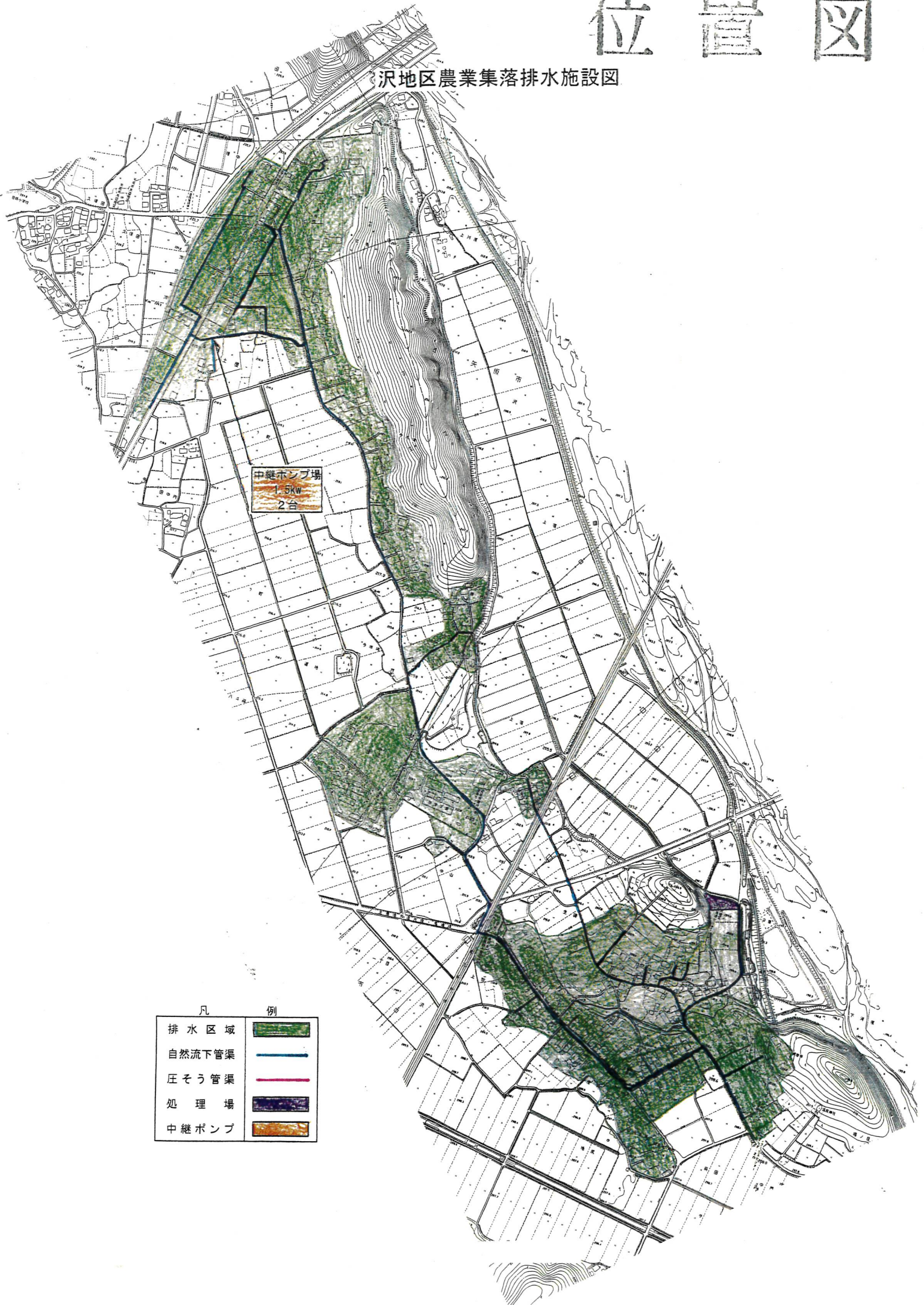


位置図



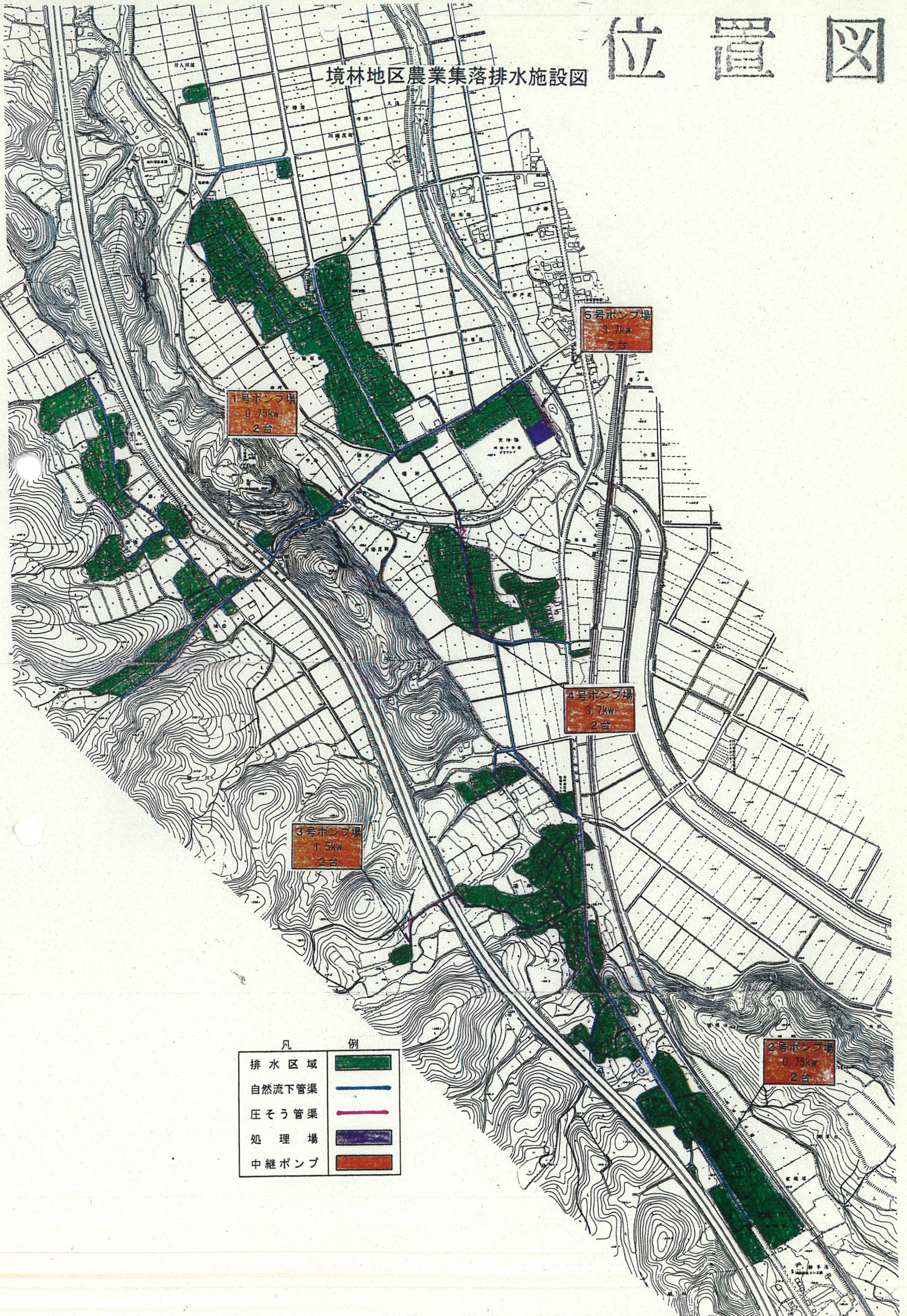
位置図

沢地区農業集落排水施設図



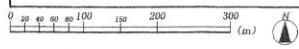
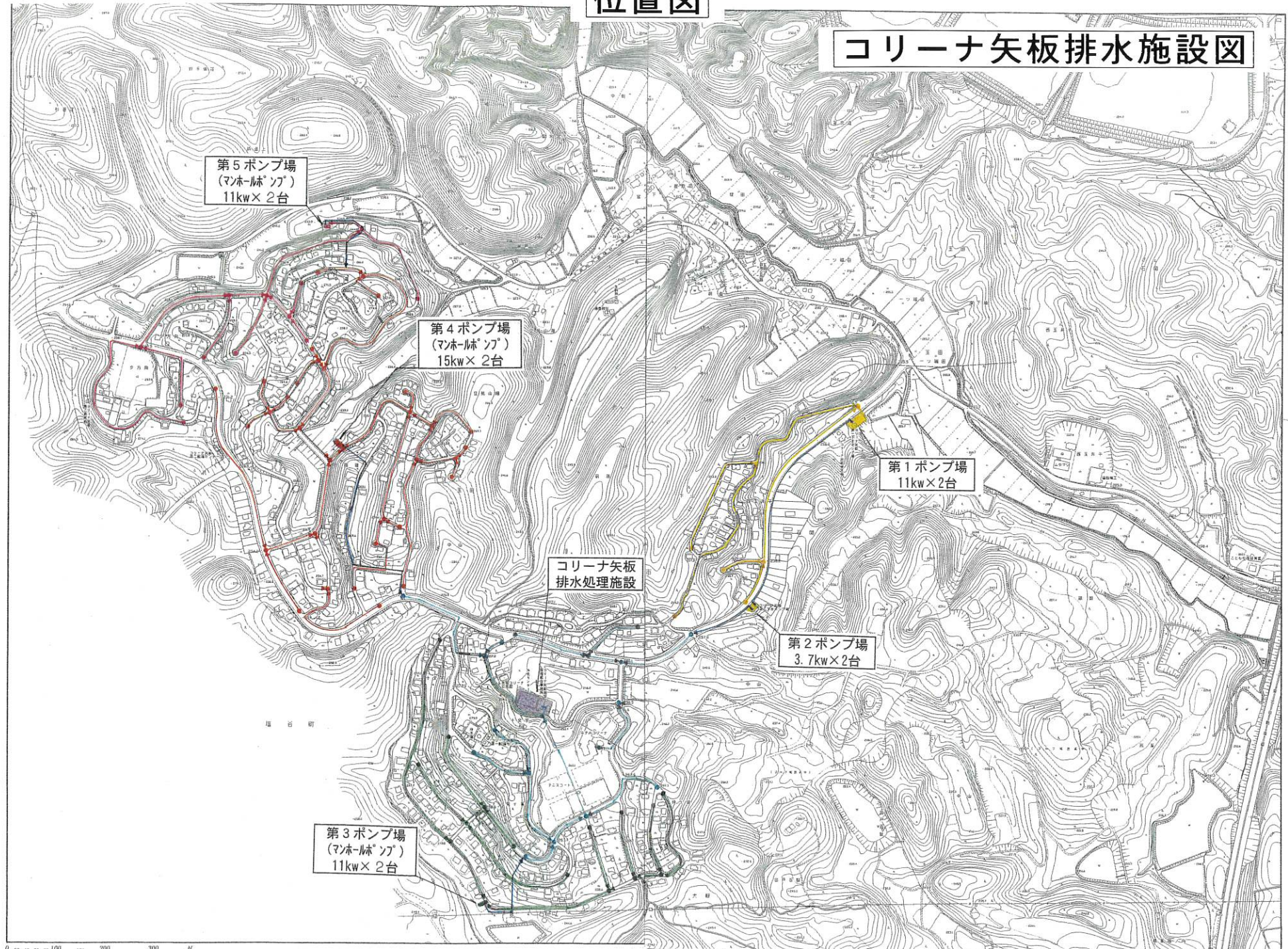
位置図

境林地区農業集落排水施設図



位置図

コリーナ矢板排水施設図



流入実績等に関する特記仕様書

1. 流入実績

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
流入水量 (m^3)	1,946,263	1,937,890	2,054,910	年間流入水量
	17,375	12,269	23,733	最大
	3,997	3,861	3,776	最小
	5,332	5,295	5,630	平均
p h	7.7	7.7	7.8	最大
	6.9	7.0	6.8	最小
	7.3	7.3	7.3	平均
S S (mg/l)	252.0	216.0	298.0	最大
	36.0	74.0	12.0	最小
	159.0	154.0	148.0	平均
B O D (mg/l)	337.0	346.0	315.0	最大
	161.0	185.0	81.0	最小
	259.0	252.0	197.0	平均

2. 発生汚泥量

項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
ケーキ発生量 (t/日)	959.3	932.9	912.3	年間ケーキ発生量
	7.6	7.7	8.0	最大 (日)
	3.0	3.0	2.5	最小 (日)
	5.0	5.0	4.8	平均 (日)

3. 流入水量見込み

項目	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	備考
流入水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	5,539	5,592	5,522	5,562	5,544	日平均流入水量
	2,021,606	2,040,960	2,015,560	2,030,241	2,023,544	年間流入水量

上記流入水量については、汚泥処理施設からの返流水等を含む

放流水質等に関する要求水準書

(目的)

第1条 本要求水準書は、矢板市下水道終末処理場等維持管理業務委託（以下、「本業務」という。）を受託者（以下、「乙」という。）が実施するにあたり、市（以下、「甲」という。）の求める維持管理上の水準事項を定めたものであり、本業務に基づき管理の対象となる施設（以下、「対象施設」という。）を適正に管理する上で遵守すべき基準を、乙に示すことを目的とする。

(用語の定義)

第2条 本要求水準書において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるとおりとする。

一 法定基準

関連法規に基づいた遵守すべき基準をいう。乙の責により法定基準を遵守することができなかったときは、委託費の減額対象となる。

二 目標基準

関連法規に基づいた遵守すべき基準ではなく、維持管理上の目標とする基準をいう。基準を達成できなかった場合には、甲に速やかに報告すると共に、原因究明を行い報告を行うこと。

(放流水質)

第3条 対象施設の水処理を良好な状態に保ち、以下の法定基準を遵守すること。

項目	単位	法定基準	実績値	備考
pH	—	5.8以上8.6以下	7.1	
BOD	mg/l	15以下	8.5	
SS	mg/l	40以下	11.0	
大腸菌数	CFU/ml	800以下	130	※実績値は大腸菌群数で計測

※上記実績値は、令和4年度から令和6年度の3ヵ年の最大値である。

(脱水汚泥)

第4条 対象施設の汚泥処理を良好な状態に保ち、以下の基準を遵守すること。

項目	単位	目標基準	実績値	備考
含水率	%	80以下	81.5	最大値
			56.5	最小値
			71.5	平均値

※上記実績値は、令和4年度から令和6年度の3ヵ年の実績値である。

※平均値は、令和4年度から令和6年度の各年度における平均値の単純平均である。

(本業務にかかる仕様事項)

第5条 乙は、契約書、仕様書を遵守すること。

(本業務にかかる仕様事項)

第6条 本要求水準書に疑義を生じた場合は、甲乙協議の上定めるものとする。

特記仕様書

矢板市水処理センター

1. 所在地 矢板市安沢3617

2. 処理施設

① 敷地面積 5.1ha

② 水処理施設

排除方法： 分流式

処理方法： 標準活性汚泥法3／6系列

流入管渠、沈砂池、主ポンプ設備、水処理設備、送風機設備、水処理電気設備
放流管路等

③ 沈砂池ポンプ棟 1棟 2階建 737.78m²

沈砂池設備等

④ 管理棟 1棟 2階建 996.98m²

管理棟設備等

⑤ 機械棟 1棟 地下1階地上2階建 1,393.43m²

汚泥濃縮タンク設備、汚泥脱水設備、汚泥処理電気設備、脱臭設備等

3. 下水処理場処理能力

① 処理人口

実施計画人口 18,000人

現在処理人口 11,900人

② 日最大汚水量

全体計画処理施設能力 19,600m³/日

現有処理施設能力 9,800m³/日

現在流入水量（年間平均） 5,630m³/日

③ 汚泥処理

ベルトプレス 810DSkg/台

ロータリープレス 1,600DSkg/台

特 記 仕 様 書

農業集落排水処理施設

1. 沢地区

名称	沢地区水処理センター
所在地	矢板市沢字下河原282-1
日平均汚水量 (R6年度)	279m ³ /日
計画処理人口	1,350人
排除方式	分流式
処理方式	JARUSⅢ (流量調整槽前型嫌気ろ床併用接触ばっ気方式) ※特殊酵素材により汚泥減量を実施している。
中継ポンプ	マンホールポンプ (1か所) (1) 土屋291-10先

2. 境林地区

名称	境林地区水処理センター
所在地	矢板市木幡1653-2
日平均汚水量 (R6年度)	142m ³ /日
計画処理人口	1,540人
排除方式	分流式
処理方式	JARUSXⅣ96型 (間欠流入ばっ気方式) ※特殊酵素材により汚泥減量を実施している。
中継ポンプ	マンホールポンプ (5か所) (1) 川崎反町59-1先 (2) 境林618-5先 (3) 境林80先 (4) 境林899先 (5) 木幡1654-1先

特 記 仕 様 書

クリーナ矢板排水処理施設

1. クリーナ矢板水処理センター（矢板市石関1121-80）

- （1）日平均汚水量（R6年度） 345m³/日
- （2）計画処理人口 6,800人
- （3）排除方式 分流式
- （4）処理方式 長時間ばっ気方式
- （5）現在平均流入量（R6年度） 345m³/日

2. ポンプ場

- （1）第1ポンプ場（矢板市石関1125-15）
- （2）第2ポンプ場（矢板市石関1125-115）

3. マンホールポンプ場

- （1）第3ポンプ場（矢板市大槻2317-71）
- （2）第4ポンプ場（矢板市玉田416-76）
- （3）第5ポンプ場（矢板市玉田404-171）

場外中継ポンプ場・場外流量計施設点検業務に関する特記仕様書

業務委託仕様書第42条に基づく資料

番号	名称	場所	M. H	吐出量 (m ³ /min)	定格出力 (kW)	揚程 (m)	備考
1	上町ポンプ場	上町758番地7地先（内川橋）	3号	0.5	2.2	6.0	
2	鹿島町ポンプ場	鹿島町432番地先（なかよし公園北側）	3号	0.809	5.5	13.1	
3	仲町ポンプ場	矢板53番地先（図書館南側）	2号	0.35	0.75	3.0	
4	東町第3ポンプ場	東町565番地21地先	1号	0.149	0.75	1.3	
5	針生第2ポンプ場	針生287番地1地先	3号	0.453	3.7	12.9	
6	中第1ポンプ場	中472番地6地先	2号	0.265	0.75	3.8	
7	中第2ポンプ場	中717番地先	2号	0.18	0.75	3.3	
8	木幡第2ポンプ場	木幡1278番地2地先（念佛橋）	3号	0.637	2.2	7.3	
9	白栗ポンプ場	片岡1644番地50地先	4号	1.3	15	30.0	
10	富田ポンプ場	末広町559番地1地先	2号	0.2	0.75	6.1	
11	木幡西第2ポンプ場	木幡286－5	2号	0.159	1.5	7.5	
12	木幡西第3ポンプ場	木幡313	3号	0.283	2.2	8.8	
13	越畑ポンプ場	乙畑1736	3号	0.48	2.2	9.2	
14	石関第1ポンプ場	石関1333－22	3号	0.51	2.2	8.9	
15	石関第2ポンプ場	乙畑1640	2号	0.163	1.5	10.1	
16	つつじが丘ポンプ場	乙畑1393－207	3号	0.44	5.5	19.7	
17	早川町マンホール	早川町	1号	流量計	－	－	

- マンホールポンプ場等の点検は、月2回、マンホール上部からの内部点検及び盤内点検を基本とする。
- 上部からの点検により異常が発見されたときは、委託者に報告を行うとともに必要な措置を行わなければならない。
- 上記マンホールポンプについては、年6回（3箇所／回）内部の油脂類の清掃を実施しなければならない。

資料－ 1

業務委託仕様書第12条（提出書類）に基づく資料

No	業務の名称	業務の内容	備 考
1	業務履行計画書（年間計画）	年度当初4月の月初めに提出	
2	月間作業計画書	月初めに毎月提出	
3	月間作業実績書	完了月の翌月に毎月提出	
4	業務総括責任者選任届	契約後速やかに提出	
5	公有財産使用許可申請書（事務室等の使用）	契約後速やかに提出	
6	業務完了報告書	完了月の翌月に毎月提出 （その内容は下記の①～⑤のとおり）	
	① 水処理運転月報	年報 1	
	② 汚泥処理運転月報	年報 1	
	③ 受配電月報	年報 1	
	④ 水質試験月報	年報 1	
	⑤ 月間業務考察	年報 1	
7	業務日報	241枚／年	
8	日常点検表	190枚／年	
9	日中巡視表	96枚／年	
10	週間点検表	52枚／年	
11	脱水機運転日報	脱水機運転日数	
12	中央監視記録	241枚／年	
13	電気室記録	12枚／年	
14	各機器月例点検表	12枚／年	
15	電気設備月例点検表	12枚／年	
16	電気計装設備・マンホール定期点検表	12枚／年	
17	蓄電池点検測定記録表	4枚／年	
18	発電機運転記録表	無負荷運転：12枚／年 ・ 停電時 ・ 年点検時	
19	場外中継ポンプ場施設・場外流量計施設点検表	1箇所につき：12枚／年	
20	各機器年点検表	各機器：1枚／年	

備 考

1. 上表中の1から6は市に提出
2. 上表中の7から20は、何時でも市が閲覧できる状態で受託者が現場に保管

資料－２

業務委託仕様書第24条（水質検査業務）に基づく資料

１．水質検査項目と採取試料

◎：日常試験－１（休日を除く毎日）

○：〃－２（週２回）

●：〃－３（週１回）

△：通日試験（年２回）

項目	検体	流入下水	初沈流出水	曝気槽 混合液	処理水	放流水
	採水箇所	場内 マンホール	初沈出口	曝気槽出口	終沈出口	放流口
水温		◎△	◎△	◎	◎△	◎
透視度		◎△	◎△		◎△	◎
SV				◎		
SVI				○		
DO				○		
MLSS				○		
MLVSS				●		
残留塩素						○
生物相				●		
水素イオン濃度		○△	○△	◎	○△	○
浮遊物量		○△	○△		○△	○
化学的酸素要求量		○△	○△		○△	○
生物化学的酸素要求量		●△	●△		●△	●

２．汚泥試験項目と採取試料

●：１回／週

○：２回／脱水機運転日 ※午前、午後（各１回）

項目	検体	初沈 汚泥	返送 汚泥	濃縮槽 汚泥	供給 汚泥	脱水 ケーキ
温度						
pH		●	●	●		
SV			●			
濃度		●	●	●	○	
含水率						○
有機分		●	●	●	●	●

資料－３

業務委託仕様書第25条（法定水質検査等）に基づく資料

１． 流入水、放流水（分析項目一覧）

番号	分析項目	流入水回数	放流水回数	備考
1	水素イオン濃度	12	24	生活環境項目
2	生物化学的酸素要求量	12	24	
3	化学的酸素要求量	12	24	
4	浮遊物質量	12	24	
5	ノマルヘキサン抽出物質含有量（鉱油類含有量）		24	
6	ノマルヘキサン抽出物質含有量（動植物油脂類含有量）		24	
7	フェノール類含有量		24	
8	銅含有量		24	
9	亜鉛含有量（全量）	12	24	
10	亜鉛含有量（溶解性）	12	24	
11	溶解性鉄含有量		24	
12	溶解性マンガ含有量		24	
13	クロム含有量		24	
14	大腸菌群数		24	
15	窒素含有量	12	24	
16	燐含有量	12	24	
17	塩化物	12		
1	カドミウム及びその化合物		2	有害物質
2	シアン化合物		2	
3	有機燐化合物		2	
4	鉛及びその化合物		2	
5	六価クロム化合物		2	
6	砒素及びその化合物		2	
7	水銀及びアルキル水銀化合物その他の水銀化合物		2	
8	アルキル水銀化合物		2	
9	ポリ塩化ビフェニル		2	
10	トリクロロエチレン		2	
11	テトラクロロエチレン		2	
12	ジクロロメタン		2	
13	四塩化炭素		2	
14	1・2 - ジクロロエタン		2	
15	1・1 - ジクロロエチレン		2	
16	シス-1・2 - ジクロロエチレン		2	
17	1・1・1 - トリクロロエタン		2	
18	1・1・2 - トリクロロエタン		2	
19	1・3 - ジクロロプロペン		2	
20	チウラム		2	
21	シマジン		2	
22	チオベンカルブ		2	
23	ベンゼン		2	
24	セレン及びその化合物		2	
25	ほう素及びその化合物		2	
26	ふっ素及びその化合物		2	
27	1,4ジオキサン		2	
28	アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		2	
29	クリプトスポリジウム		2	

分析回数

流入水 9項目：12回／年（1回／月）
 放流水 16項目：24回／年（2回／月）
 放流水 29項目：2回／年（5月、11月）

分析方法等

環境庁告示又は、JIS等による測定方法による。

2. 汚泥試験（分析項目一覧）

N o	分析項目	溶出試験	含有試験
1	アルキル水銀化合物	2	
2	水銀又はその化合物	2	2
3	カドミウム又はその化合物	2	2
4	鉛又はその化合物	2	2
5	有機燐化合物	2	
6	六価クロム化合物	2	
7	砒素又はその化合物	2	2
8	シアン化合物	2	
9	P C B	2	
10	トリクロロエチレン	2	
11	テトラクロロエチレン	2	
12	ジクロロメタン	2	
13	四塩化炭素	2	
14	1・2-ジクロロエタン	2	
15	1・1-ジクロロエチレン	2	
16	シス-1・2-ジクロロレチレン	2	
17	1・1・1-トリクロロエタン	2	
18	1・1・2-トリクロロエタン	2	
19	1・3-ジクロロプロペン	2	
20	チウラム	2	
21	シマジン	2	
22	チオベンカルブ	2	
23	ベンゼン	2	
24	セレン又はその化合物	2	2
25	亜鉛又はその化合物	2	2
26	銅又はその化合物	2	2
27	ニッケル又はその化合物	2	2
28	クロム又はその化合物	2	2
29	含水率	2	2
30	1． 4 ジオキサン	2	
		3 0 項目	1 0 項目

備 考 1． 分析回数及び方法等

2回／年（5月・11月）環境庁告示又はJ I S等による測定方法による。

3. し 渣・沈砂試験（分析項目一覧）

N o	分析項目	溶出試験
1	アルキル水銀化合物	2
2	水銀又はその化合物	2
3	カドミウム又はその化合物	2
4	鉛又はその化合物	2
5	有機燐化合物	2
6	六価クロム化合物	2
7	砒素又はその化合物	2
8	シアン化合物	2
9	P C B	2
10	トリクロロエチレン	2
11	テトラクロロエチレン	2
12	ジクロロメタン	2
13	四塩化炭素	2
14	1・2-ジクロロエタン	2
15	1・1-ジクロロエチレン	2
16	シス-1・2-ジクロロレチレン	2
17	1・1・1-トリクロロエタン	2
18	1・1・2-トリクロロエタン	2
19	1・3-ジクロロプロペン	2
20	チウラム	2
21	シマジン	2
22	チオベンカルブ	2
23	ベンゼン	2
24	セレン又はその化合物	2
25	亜鉛又はその化合物	2
26	銅又はその化合物	2
27	ニッケル又はその化合物	2
28	クロム又はその化合物	2
29	含水率	2
30	1． 4 ジオキサン	2
31	フッ素	2
32	ホウ素	2

2回／年（5月・11月）環境庁告示又はJ I S等による測定方法による。

資料－4

業務委託仕様書第31条に基づく資料

特定事業場排水分析業務（試料採取場所及び分析項目）

N o	採取場所	項目数	水素イオン濃度	生物化学的 酸素要求量	浮遊物質 量	抽出物質含有量 (動植物油脂類) n－ヘキサン (鉱油類)	抽出物質含有量 (動植物油脂類) n－ヘキサン	透視度	カドミウム及び その化合物	シアン化合物	鉛及び その化合物	六価クロム 化合物	砒素及び その化合物	水銀・アルキル水銀 他水銀化合物	銅含有量	亜鉛含有量	フェノール類 含有量	テトラクロロ エチレン
1	東京計器	14	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	一代元	5	○	○	○		○	○										
3	宴天下	5	○	○	○		○	○										
4	CoCo壱番屋	5	○	○	○		○	○										
5	国際医療福祉大学塩谷総合病院	8	○	○	○	○	○	○						○			○	
6	尾形クリニック（医院）	8	○	○	○	○	○	○						○			○	
7	アゼリアホーム（老健施設）	8	○	○	○	○	○	○						○			○	
8	ダイユー	5	○	○	○		○	○										
9	サンユー	5	○	○	○		○	○										
10	ベイシア矢板店（西側）	5	○	○	○			○										○
11	ヨークベニマル	5	○	○	○		○	○										
12	レストランA0I（あおい）	5	○	○	○		○	○										

備 考

1．分析回数及び方法

2回／年（8月、2月）J I S等による測定方法とする。

2．計量証明書の記載事項

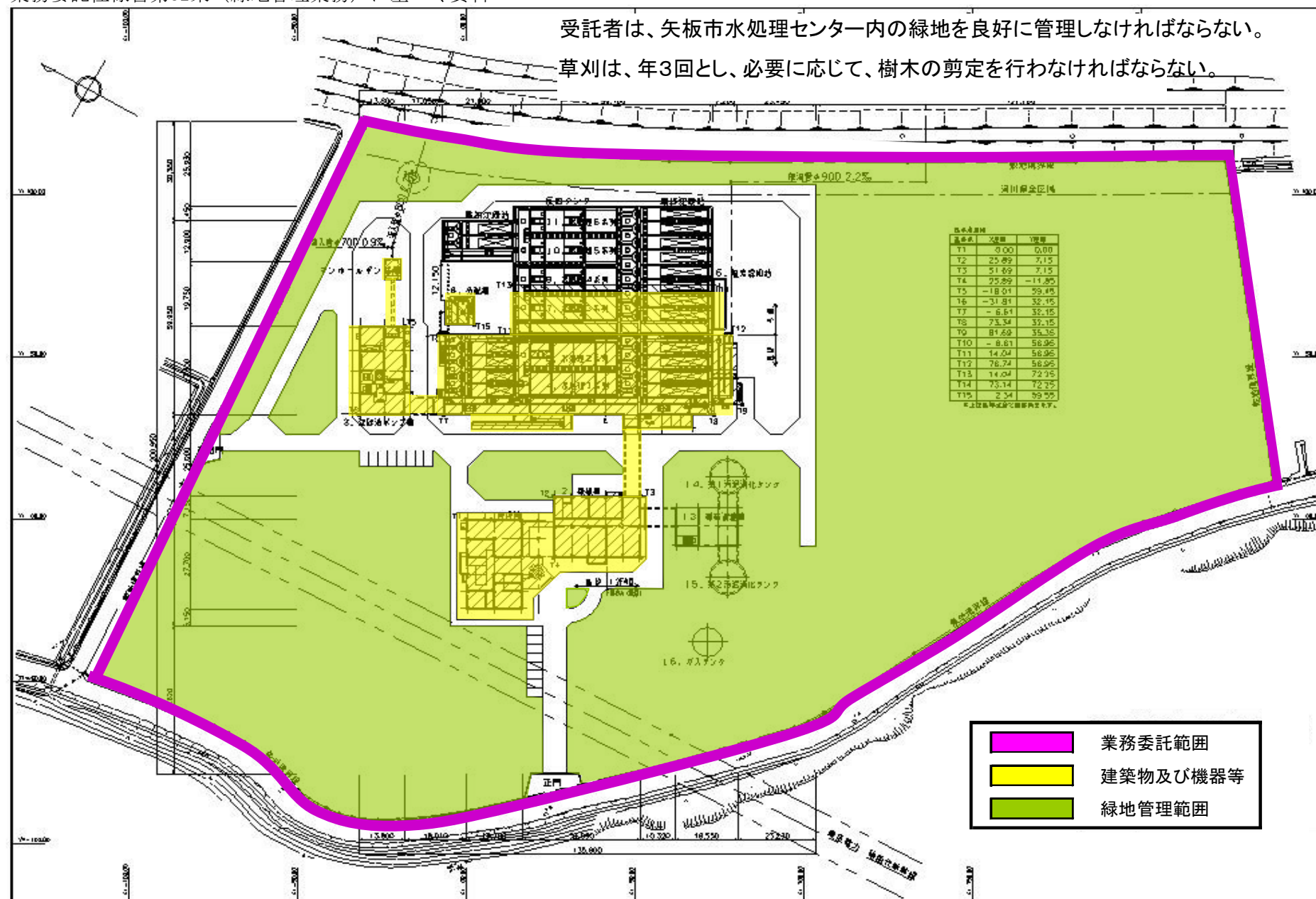
採取日の天候、時刻、採取地点の状況等について記載すること。

資料－５

業務委託仕様書第３２条（清掃業務）に基づく資料

棟	室 名 等		ワックス塗布	定 期 清 掃			
			1／年	随 時	1／週	1／月	1／年
管理棟	1 階	風除室			○		
		玄関ホール(渡り廊下)			○		
		廊下	○				
		電気室			○		
		工作室					○
		器材倉庫 1					○
		〃 2					○
		倉庫					○
		水質試験室	○		○		
		作業員控室	○	○			
		宿直室		○			
		脱衣室		○			
		浴室		○			
		便所	○		○		
		下足室					○
	2 階	空調機械室					○
		監視室	○	○			
		仮眠室		○			
		会議室	○	○			
		事務室	○	○			
		書庫					○
		器材倉庫					○
		湯沸室			○		
		便所	○		○		
	共通	廊下	○	○			
		階段	○	○			
機械棟	B 1 階	ポンプ室・ブロワ室					○
		補機室					○
		管廊					○
	1 階	補機室					○
		ホッパー室					○
		薬注室					○
	2 階	廊下					○
		脱水機室					○
		廊下					○
		自家発電機室					○
		換気機械室 1					○
	共通	〃 2					○
		階段					○
沈砂池棟	B 1 階	沈砂池機械室					○
		倉庫					○
	1 階	玄関					○
		電気室					○
		ホッパー室					○
		搬出入室					○
		工作室					○
		換気室					○
		ゲート室					○
		便所					○
	2 階	ホッパー室					○
	共通	階段					○
共通		窓ガラス・蛍光灯	年1回全数清掃するものとする。				

業務委託仕様書第32条（緑地管理業務）に基づく資料



<p>資料－ 7</p> <p>業務委託仕様書第33条（床排水ポンプ更新）に基づく資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡管廊床排水ポンプ 出力1.5kw 電圧200v 周波数50Hz 極数2P 2台 ・機械棟床排水ポンプ 出力1.5kw 電圧200v 周波数50Hz 極数4P 2台 <p>・床排水ポンプ更新については、令和8年度中に行うこと</p>
<p>資料－ 8</p> <p>業務委託仕様書第34条（機械棟活性炭交換）に基づく資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械棟活性炭交換 <p>酸性ガス用活性炭：290kg 塩基性ガス用活性炭：300kg 中性ガス用活性炭：280kg 廃活性炭処分</p> <p>・活性炭交換業務については、令和9年度中に行うこと</p>
<p>資料－ 9</p> <p>業務委託仕様書第35条（沈砂池棟活性炭交換）に基づく資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沈砂池棟活性炭交換 <p>酸性ガス用活性炭：330kg 塩基性ガス用活性炭：396kg 中性ガス用活性炭：363kg 廃活性炭処分</p> <p>・活性炭交換業務については、令和9年度中に行うこと</p>
<p>資料－ 1 0</p> <p>業務委託仕様書第36条（ライフゼム点検）に基づく資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・FRP空気ポンベ法定点検 1 本 ・スチール空気ポンベ法定点検 1 本 <p>・ライフゼム点検業務については、令和10年、11年度中に行うこと</p>
<p>資料－ 1 1</p> <p>業務委託仕様書第37条（沈砂池棟No.1ポンプ井攪拌機更新）に基づく資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3相×1.5kw×200V×50Hz <p>主要材質 プロペラ：SUS316相当 Φ368 ケーシング：SUS316相当 シャフト：SUS431相当 ドラフトリング：SUS304 ケーブル：2PNCT 4芯2mm²+2芯1.25mm²×Nm</p> <p>・沈砂池棟No.1ポンプ井攪拌機更新は、令和8年度中に行うこと</p>

資料－ 1 2

業務委託仕様書38条（移動発電機レンタル）に基づく資料

DS/S 60/50KVA

ダンプ2 t

・ 発電機レンタルは、令和8年度から令和12年度まで行うこと

- ・発電機レンタルは、令和8年度から令和12年度まで行うこと

資料－ 1 3

業務委託仕様書第39条（消防設備点検業務）に基づく資料

【矢板市水処理センター】

消火器設置箇所 2 2 か所

火災報知設備設置箇所 1 4 か所

【境林地区水処理センター】

誘導灯 6 か所

・ 消防法に基づき、実施すること

- ・消防法に基づき、実施すること

資料－１４

業務委託仕様書第40条（自家用電気工作物保安管理業務）に基づく資料

【矢板市水処理センター】

- ・ 需要設備：８００ｋＶＡ
- ・ 非常用発電装置：２５０ｋＶＡ
- ・ 電圧：６，６００Ｖ
- ・ 電圧：２００Ｖ

【境林地区水処理センター】

- ・ 需要設備：８５ｋＶＡ
- ・ 非常用発電装置： —
- ・ 電圧：６，６００Ｖ
- ・ 電圧： —

【コリーナ矢板水処理センター】

- ・ 需要設備：１１０ｋＶＡ
- ・ 非常用発電装置：４０ｋＶＡ
- ・ 電圧：６，６００Ｖ
- ・ 電圧：２００Ｖ

・ 上記の施設について、自家用電気工作物保安点検を実施すること

- ・上記の施設について、自家用電気工作物保安点検を実施すること

業務委託仕様書第47条（リスク分担）に基づく資料

リスク分担

リスクの種類	リスクの内容	負担者	
		市	受託者
経費の上昇	市の責による業務内容・用途の変更等に起因する経費の増大及び契約書に規定する経費	○	
	上記以外の経費の増大		○
税制の変更	一般的な税制変更		○
	消費税制の変更	○	
住民対応	行政サービスに係る住民苦情、要望に関するもの	○	
	上記に係る一時対応及び上記以外のもの		○
環境問題	受託者の責による事故・災害の発生		○
	有害物質の排出・漏洩		○
第三者への賠償	受託者の責により第三者に損害を与えた場合		○
事故・災害	受託者の責による事故・災害等の発生（再受託者及び関係者以外による事故、施設の破損、盗難、場内の不法投棄等含む）		○
工事等の遅延	市発注の「工事、第三者委託等」の遅延による委託対象施設の機能の不足	○	
	受託者発注の「工事、第三者委託等」の遅延による委託対象施設の機能不足		○
対象施設の損害	市発注の「工事、第三者委託等」による委託対象施設の損害	○	
	受託者発注の「工事、第三者委託等」による委託対象施設の損害		○
施設の損傷	受託者の責による事故・災害等による施設の損傷（不可抗力によるものを除く）		○
性能事項の未達成	契約条件下での要求水準の未達成		○
	不可抗力等による要求水準の未達成	○	
業務計画書の履行	業務計画書に記載した事項の不履行		○
契約締結	受託者の責により契約を結べない、又は契約手続きに時間を要する場合		○
委託の中止、延期	受託者の事業放棄、破綻によるもの		○

農業集落排水処理施設（沢地区、境林地区）に関する業務

1. 農業集落排水施設の運転操作及び監視に関する業務

- (1) 設備の操作及び監視に関する以下の業務を行う。
 - ①排水施設の運転操作、監視、記録、点検及び軽微な修繕
 - ②各種計器の監視、記録
 - ③その他運転操作上、必要な業務
- (2) 受託者は、維持管理業務に関係のある法律、政令、告示、条例及び規則等を誠実に遵守しなければならない。法令等の遵守については、受託者の責任と負担において行うものとする。
- (3) 業務に従事する技術管理者は、浄化槽法及び厚生労働省令で定める資格を有するものとする。
- (4) 24 時間監視とし、非常通報装置等で常時監視できる状態にする。
- (5) 受託者は、機器の状態等を記録した管理日報を作成し、市に提出しなければならない。
- (6) 受託者は、事故が発生したときは、応急処置を講じて被害を最小限にとどめなければならない。また、事故発生の原因及び被害の内容については、直ちに報告し、実施した措置の内容を、書面をもって速やかに報告しなければならない。
- (7) 受託者は、維持管理業務の遂行にあたり、次の書類を提出しなければならない。また、書類の変更が生じた場合は、理由書を添えて速やかに変更届を提出しなければならない。
 - ① 年間業務計画書、毎月の業務計画書
 - ② 技術管理者（履歴書）、作業員名簿、電気機械技術管理者名簿（履歴書）
 - ③ 緊急時連絡表
 - ④ 維持管理点検報告書
 - ⑤ 委託業務完了届及びその他業務遂行上必要なもの
- (8) 電力、水道、通信使用料の支払業務も含まれるものとする。

2. 保守点検に関する業務

- (1) 維持管理のための定期巡回は、沢地区においては2週間に1回以上、境林地区においては1週間に1回以上とする。なお、定期巡回時以外においても、委託者が必要と認めるときには立ち会うものとする。
- (2) 受託者は、別紙様式により管理日報を作成し、委託者に報告するとともに、自らも5年間保存しなければならない。
- (3) 境林地区においては、自家用電気工作物保安点検を実施すること。
- (4) 外部委託を行う場合は、その計画及び実施について、市と協議を行う。

- (5) 浄化槽法第 11 条検査を実施すること。
- (6) 受託者は、故障又は異常を認めたときは、適切な応急処置を行うとともに、市へ報告し、指示を受けなければならない。
- (7) 故障又は異常に伴う修理は速やかに対応するとともに、これに要した費用は両者協議の上決定するものとする。
- (8) 消耗品の交換は、原則として定期巡回時に行わなければならない。
- (9) 受託者は、その日の作業終了に際し、機材の整理整頓、その他の安全確認及び作業現場の清掃を行わなければならない。

3. 水質検査に関する業務

- (1) 受託者は、水質汚濁防止法等の基準に基づいて放流水の水質試験を行わなければならない。この水質試験は、定められた方法によって月 1 回以上測定し、その結果を市に提出しなければならない。
- (2) 検査項目については、別表のとおりとする。

4. 安全管理

- (1) 受託者は、維持管理業務の遂行にあたっては、安全第一を基本とし、常に安全管理に必要な措置を講じ、労働災害の発生防止に努めなければならない。
- (2) 受託者は、単に労働災害防止のため最低基準を守るだけでなく、快適な作業環境の実現と労働条件の改善を通して職場における労働者の安全と健康を確保しなければならない。
- (3) 受託者は、作業員の安全に関する意識高揚を図るため、安全教育に努めなければならない。
- (4) 受託者は、災害等に対して常に対処できる準備をしておかななければならない。
- (5) 受託者は、漏電、火災及びその他の事故が発生する恐れのある場合、直ちに、被害を未然に防止するよう万全の措置を講じなければならない。
- (6) 受託者は、安全を確保するために行う委託者の指示に従わなければならない。

5. 貸与品

- (1) 貸与品は次のとおりとする。

① 門扉の鍵	2 本
② 処理場の鍵	2 本
③ 中継ポンプ場制御盤の鍵	2 本
④ マンホール開閉用パール	2 本
⑤ 汚水処理施設竣工図	2 冊
⑥ 機器取扱説明書及び機器運転操作説明書	4 冊

施 設 概 要

農業集落排水処理施設

1 沢地区

名称	沢地区水処理センター
所在地	矢板市沢字下河原 2 8 2 - 1
日平均汚水量 (R6 年度)	2 7 9 m ³ /日
計画処理人口	1, 3 5 0 人
排除方式	分流式
処理方式	J A R U S Ⅲ 型 (流量調整槽前置型嫌気ろ床併用接触ばっ気方式) ※特殊酵素剤による汚泥減量を実施している。
中継ポンプ	マンホールポンプ (1 箇所) (1) 土屋 291-10 先 ・ 1.5kw×2 台

2 境林地区

名称	境林地区水処理センター
所在地	矢板市木幡 1 6 5 3 - 2
日平均汚水量 (R6 年度)	1 4 2 m ³ /日
計画処理人口	1, 5 4 0 人
排除方式	分流式
処理方式	J A R U S X I V 9 6 型 (間欠流入ばっ気方式) ※特殊酵素剤による汚泥減量を実施している。
中継ポンプ	マンホールポンプ (5 箇所) (1) 川崎反町 59-1 先 ・ 0.75kw×2 台 (2) 境林 618-5 先 ・ 0.75kw×2 台 (3) 境林 80 先 ・ 1.5kw×2 台 (4) 境林 899 先 ・ 3.7kw×2 台 (5) 木幡 1654-1 先 ・ 3.7kw×2 台

水質検査検査（業務委託分）

【沢地区】

項目名	水温 ℃	P H	透視度 (cm)	D O (mg/ℓ)	O R P (mv)	M L S S (mg/ℓ)	残留塩素 (mg/ℓ)
原水（流量調整槽）	—	—	—	—	—	—	—
ばっ気槽第1室	○	○	—	○	○	○	—
ばっ気槽第2室	○	○	—	○	○	○	—
ばっ気槽第3室	○	○	—	○	○	○	—
ばっ気槽第4室	○	○	—	○	○	○	—
ばっ気槽第5室	○	○	—	○	○	○	—
返送汚泥	—	—	—	—	—	○	—
沈殿槽	○	○	○	—	○	—	—
放流水	○	○	○	—	○	—	○
消滅槽	—	—	—	—	—	—	—
貯留槽	—	—	—	—	—	—	—

【境林地区】

項目名	水温	P H	透視度 (cm)	D O (mg/ℓ)	O R P (mv)	M L S S (mg/ℓ)	残留塩素 (mg/ℓ)
原水ポンプ槽	○	○	○	—	○	—	—
汚水計量槽	○	○	○	—	○	—	—
濃縮汚泥槽	—	—	—	—	—	—	—
ばっ気槽第1室	○	○	—	○	○	○	—
ばっ気槽第2室	○	○	—	○	○	○	—
沈殿槽	○	○	○	—	○	—	—
消毒槽	○	○	○	—	○	—	○

水質検査検査（法定検査分）

【沢地区】

項目	数量	単位	水処理センター (月 1 回)		親水公園下流 (年 4 回)	
			流入	放流	流入	放流
pH	28	検体	○	○	—	○
BOD	28	検体	○	○	—	○
COD	28	検体	○	○	—	○
SS	28	検体	○	○	—	○
大腸菌	16	検体	—	○	—	○
カドミウム	16	検体	—	○	—	○
シアン化合物	16	検体	—	○	—	○
有機リン	16	検体	—	○	—	○
鉛	16	検体	—	○	—	○
六価クロム	16	検体	—	○	—	○
ヒ素	16	検体	—	○	—	○
総水銀	16	検体	—	○	—	○
溶存酸素	16	検体	—	○	—	○
全窒素	28	検体	○	○	—	○
全リン	28	検体	○	○	—	○
残留塩素	16	検体	—	○	—	○

【境林地区】

項目	数量	単位	水処理センター (月 1 回)		川崎反町T字路 (年 4 回)	
			流入	放流	流入	放流
pH	28	検体	○	○	—	○
BOD	28	検体	○	○	—	○
COD	28	検体	○	○	—	○
SS	28	検体	○	○	—	○
大腸菌	16	検体	—	○	—	○
カドミウム	16	検体	—	○	—	○
シアン化合物	16	検体	—	○	—	○
有機リン	16	検体	—	○	—	○
鉛	16	検体	—	○	—	○
六価クロム	16	検体	—	○	—	○
ヒ素	16	検体	—	○	—	○
総水銀	16	検体	—	○	—	○
溶存酸素	16	検体	—	○	—	○
全窒素	28	検体	○	○	—	○
全リン	28	検体	○	○	—	○
残留塩素	16	検体	—	○	—	○

コリーナ矢板排水処理施設に関する業務

1. コリーナ矢板排水施設の運転操作及び監視に関する業務

- (1) 設備の操作及び監視に関する以下の業務を行う。
 - ①排水施設の運転操作、監視、記録、点検及び軽微な修繕
 - ②各種計器の監視、記録
 - ③その他運転操作上、必要な業務
- (2) 受託者は、維持管理業務に関係のある法律、政令、告示、条例及び規則等を誠実に遵守しなければならない。法令等の遵守については、受託者の責任と負担において行うものとする。
- (3) 業務に従事する技術管理者は、浄化槽法及び厚生労働省令で定める資格を有するものとする。
- (4) 24 時間監視とし、非常通報装置等で常時監視できる状態にする。
- (5) 受託者は、機器の状態等を記録した管理日報を作成し、市に提出しなければならない。
- (6) 受託者は、事故が発生したときは、応急処置を講じて被害を最小限にとどめなければならない。また、事故発生の原因及び被害の内容については、直ちに報告し、実施した措置の内容を、書面をもって速やかに報告しなければならない。
- (7) 受託者は、維持管理業務の遂行にあたり、次の書類を提出しなければならない。また、書類の変更が生じた場合は、理由書を添えて速やかに変更届を提出しなければならない。
 - ① 年間業務計画書、毎月の業務計画書
 - ② 技術管理者（履歴書）、作業員名簿、電気機械技術管理者名簿（履歴書）
 - ③ 緊急時連絡表
 - ④ 維持管理点検報告書
 - ⑤ 委託業務完了届及びその他業務遂行上必要なもの
- (8) 電力、水道、通信使用料の支払業務も含まれるものとする。

2. 保守点検に関する業務

- (1) 維持管理のための定期巡回は、1 週間に 1 回以上、ただし、汚泥管理のためのばっ気槽の点検及び保守は 1 週間に 2 回以上とする。なお、定期巡回時以外においても、委託者が必要と認めるときには立ち会うものとする。
- (2) 受託者は、別紙様式により管理日報を作成し、委託者に報告するとともに、自らも 5 年間保存しなければならない。
- (3) 自家用電気工作物保安点検を実施すること。

- (4) 浄化槽法第 11 条検査を実施すること。
- (5) 外部委託を行う場合は、その計画及び実施について、市と協議を行う。
- (6) 受託者は、故障又は異常を認めたときは、適切な応急処置を行うとともに、市へ報告し、指示を受けなければならない。
- (7) 故障又は異常に伴う修理は速やかに対応するとともに、これに要した費用は両者協議の上決定するものとする。
- (8) 消耗品の交換は、原則として定期巡回時に行わなければならない。
- (9) 受託者は、その日の作業終了に際し、機材の整理整頓、その他の安全確認及び作業現場の清掃を行わなければならない。

3. 水質検査に関する業務

- (1) 受託者は、水質汚濁防止法等の基準に基づいて放流水の水質試験を行わなければならない。この水質試験は、定められた方法によって月 1 回以上測定し、その結果を市に提出しなければならない。
- (2) 検査項目については、別表のとおりとする。

4. 安全管理

- (1) 受託者は、維持管理業務の遂行にあたっては、安全第一を基本とし、常に安全管理に必要な措置を講じ、労働災害の発生防止に努めなければならない。
- (2) 受託者は、単に労働災害防止のため最低基準を守るだけでなく、快適な作業環境の実現と労働条件の改善を通して職場における労働者の安全と健康を確保しなければならない。
- (3) 受託者は、作業員の安全に関する意識高揚を図るため、安全教育に努めなければならない。
- (4) 受託者は、災害等に対して常に対処できる準備をしておかななければならない。
- (5) 受託者は、漏電、火災及びその他の事故が発生する恐れのある場合、直ちに、被害を未然に防止するよう万全の措置を講じなければならない。
- (6) 受託者は、安全を確保するために行う委託者の指示に従わなければならない。

5. 貸与品

- (1) 貸与品は次のとおりとする。

① 門扉の鍵	1 本
② 処理場の鍵	1 本
③ 中継ポンプ場制御盤の鍵	1 本
④ マンホール開閉用バール	2 本
⑤ 機器取扱説明書及び機器運転操作説明書	2 本

施 設 概 要

1 名 称 コリーナ矢板排水処理施設

2 所 在 地 矢板市石関 1 1 2 1－8 0 ほか

3 維持管理業務内容

A コリーナ矢板水処理センター（矢板市石関 1 1 2 1－8 0）

- (1) 日平均汚水量（R6 年度） 345 m³/日
- (2) 計画処理人口 6, 8 0 0 人
- (3) 排除方式 分流式
- (4) 処理方式 長時間ばっ気方式
- (5) 現在平均流入量（R6 年度） 3 4 5 m³/日

B ポンプ場

- (1) 第 1 ポンプ場（矢板市石関 1 1 2 5－1 5）
・ 11kw×2 台
- (2) 第 2 ポンプ場（矢板市石関 1 1 2 5－1 1 5）
・ 3. 7kw×2 台

C マンホールポンプ場

- (1) 第 3 ポンプ場（矢板市大槻 2 3 1 7－7 1）
・ 11kw×2 台
- (2) 第 4 ポンプ場（矢板市玉田 4 1 6－7 6）
・ 15kw×2 台
- (3) 第 5 ポンプ場（矢板市玉田 4 0 4－1 7 1）
・ 11kw×2 台

別表

水質検査（業務委託分）

項目名	外観	P H	透視度 (cm)	D O (mg/ℓ)	M L S S (mg/ℓ)	S V (%)	残留塩素 (mg/ℓ)
第 1 系列							
原水ポンプ槽	○	○	○	○	—	—	—
汚水計量槽	○	○	○	○	—	—	—
第 1 ばっ気槽	○	○	—	○	○	○	—
第 1 沈殿槽	○	○	—	○	—	—	—
第 2 ばっ気槽	○	○	—	○	—	—	—
第 2 沈殿槽	○	○	○	○	—	—	—
消毒槽	○	○	○	○	—	—	○
汚泥濃縮槽	○	—	—	—	—	—	—
第 2 系列							
第 1 ばっ気槽	○	○	—	○	○	○	—
第 1 沈殿槽	○	○	—	○	—	—	—
第 2 ばっ気槽	○	○	—	○	—	—	—
第 2 沈殿槽	○	○	○	○	—	—	—
第 3 系列							
第 1 ばっ気槽	○	○	—	○	○	○	—
第 1 沈殿槽	○	○	—	○	—	—	—
第 2 ばっ気槽	○	○	—	○	—	—	—
第 2 沈殿槽	○	○	○	○	—	—	—

水質検査（法定検査分）※月 1 回

項目名	流入水	放流水
p H	○	○
BOD	○	○
COD	○	○
SS	○	○
大腸菌数	—	○
カドミウム	—	○
シアン化合物	—	○
有機リン	—	○
鉛	—	○
六価クロム	—	○
ヒ素	—	○
総水銀	—	○
溶存酸素	—	○
全窒素	—	○
全リン	—	○
残留塩素	—	○

場外中継ポンプ場施設・場外流量計施設電気料契約内容一覧

番号	名 称	場 所	契約種別	契約kW	備 考
1	上町ポンプ場	上町 7 5 8 番地 7 地先	低圧電力	6	
2	鹿島町ポンプ場	鹿島町 4 3 2 番地先	低圧電力	13	
3	仲町ポンプ場	矢板 5 3 番地先	低圧電力	2	
4	東町第 3 ポンプ場	東町 5 6 5 番地 2 1 地先	低圧電力	3	
5	針生第 2 ポンプ場	針生 2 8 7 番地 1 地先	低圧電力	9	
6	中第 1 ポンプ場	中 4 7 2 番地 6 地先	低圧電力	2	
7	中第 2 ポンプ場	中 7 1 7 番地先	低圧電力	2	
8	木幡第 2 ポンプ場	木幡 1 2 7 8 番地 2 地先	低圧電力	6	
9	白栗ポンプ場	片岡 1 6 4 4 番地 5 0 地先	低圧電力	33	
10	富田ポンプ場	末広町 5 5 9 番地 1 地先	低圧電力	4	
11	木幡西第 2 ポンプ場	木幡 2 8 6 番地 5	低圧電力	4	
12	木幡西第 3 ポンプ場	木幡 3 1 3	低圧電力	6	
13	越畑ポンプ場	乙畑 1 7 3 6 番地 4	低圧電力	6	
14	石関第 1 ポンプ場	乙畑 1 3 3 3 番地 2 2	低圧電力	6	
15	石関第 2 ポンプ場	乙畑 1 6 4 0 番地	低圧電力	4	
16	つつじが丘ポンプ場	乙畑 1 3 9 3 番地 2 0 7	低圧電力	13	
17	早川町マンホール	早川町	定額電灯	100VA 1 , 200VA 1 , 5 0 VA 2	
				小型機器（流量計）	

場外中継ポンプ場施設電気料契約内容一覧

番号	名 称	場 所	契約種別	契約kW	備 考
1	沢地区中継ポンプ場	土屋 2 9 1 番地 1 0 先	低圧電力	4	
2	境林地区第 1 ポンプ場	川崎反町 5 9 番地 1 先	低圧電力	2	
3	境林地区第 2 ポンプ場	境林 6 1 8 番地 5 先	低圧電力	2	
4	境林地区第 3 ポンプ場	境林 8 0 番地 先	低圧電力	4	
5	境林地区第 4 ポンプ場	境林 8 9 9 番地 先	低圧電力	9	
6	境林地区第 5 ポンプ場	木幡 1 6 5 4 番地 1 先	低圧電力	6	
7	コリーナ矢板第 1 ポンプ場	石関 1 1 2 5 番地 1 5	低圧電力	17	
8	コリーナ矢板第 2 ポンプ場	石関 1 1 2 5 番地 1 1 5	低圧電力	6	
9	コリーナ矢板第 3 ポンプ場	大槻 2 3 1 7 番地 7 1	低圧電力	25	
10	コリーナ矢板第 4 ポンプ場	玉田 4 1 6 番地 7 6	低圧電力	33	
11	コリーナ矢板第 5 ポンプ場	玉田 4 0 4 番地 1 7 1	低圧電力	25	

矢板市水処理センター電気料金

単位:円(税込)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4月	1,601,665	1,898,369	1,464,444
5月	1,584,976	1,678,525	1,503,729
6月	1,747,598	1,750,294	1,687,543
7月	1,883,729	1,580,435	1,788,571
8月	2,082,833	1,577,857	1,916,401
9月	2,100,156	1,547,082	1,867,377
10月	2,031,872	1,399,209	1,614,174
11月	2,003,173	1,385,253	1,637,573
12月	2,124,496	1,396,703	1,640,310
1月	2,341,768	1,478,859	1,697,753
2月	2,154,440	1,451,117	1,599,102
3月	1,859,732	1,381,454	1,524,741
合計	23,516,438	18,525,157	19,941,718

マンホールポンプ場電気料金

単位:円(税込)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4月	293,087	300618	272,472
5月	309,112	294328	280,916
6月	333,039	329432	297,919
7月	339,915	334853	315,633
8月	370,422	289481	348,858
9月	389,642	292387	333,167
10月	379,509	301495	274,936
11月	355,323	306248	292,279
12月	358,891	298966	285,212
1月	362,954	290449	294,106
2月	298,060	268451	277,389
3月	285,270	252104	273,282
合計	4,075,224	3,558,812	3,546,169

矢板市水処理センター、マンホールポンプ場電話料金

単位:円

契約箇所	R4年度 合計			R5年度 合計			R6年度 合計		
	本体	消費税	合計(税込)	本体	消費税	合計(税込)	本体	消費税	合計(税込)
木幡第2ポンプ場	29,996	2,996	32,992	29,984	2,992	32,976	29,922	2,985	32,907
木幡西第3ポンプ場	27,724	2,768	30,492	28,128	2,809	30,937	28,898	2,886	31,784
針生第2ポンプ場	29,038	2,900	31,938	29,216	2,915	32,131	30,146	3,010	33,156
仲町ポンプ場	27,652	2,761	30,413	28,632	2,857	31,489	29,466	2,940	32,406
中第2ポンプ場	28,652	2,862	31,514	28,816	2,877	31,693	30,946	3,088	34,034
木幡西第2ポンプ場	27,124	2,709	29,833	27,464	2,743	30,207	29,066	2,902	31,968
鹿島町ポンプ場	27,214	2,795	30,009	28,360	2,832	31,192	28,426	2,838	31,264
富田ポンプ場	27,652	2,762	30,414	27,464	2,743	30,207	29,386	2,935	32,321
中第1ポンプ場	27,868	2,783	30,651	28,224	2,818	31,042	28,930	2,889	31,819
上町ポンプ場	27,220	2,719	29,939	27,601	2,756	30,357	28,330	2,828	31,158
矢板市水処理センター	36,686	3,667	40,353	37,098	3,707	40,805	37,867	3,784	41,651
白栗ポンプ場	32,428	3,237	35,665	35,160	3,509	38,669	28,586	2,854	31,440
越畑中継ポンプ場	28,276	2,824	31,100	28,392	2,835	31,227	28,266	2,823	31,089
東町第3ポンプ場	28,404	2,837	31,241	28,376	2,833	31,209	28,570	2,853	31,423
つつじが丘ポンプ場	29,120	2,910	32,030	29,418	2,940	32,358	29,609	2,959	32,568
石関第1ポンプ場	29,132	2,909	32,041	29,040	2,900	31,940	29,490	2,945	32,435
石関第2ポンプ場	28,617	2,860	31,477	28,525	2,850	31,375	28,509	2,849	31,358
合計	492,803	49,299	542,102	499,898	49,916	549,814	504,413	50,368	554,781

矢板市水処理センター水道料

単位:円

矢板市水処理センター 令和4年度 水道料				
水栓番号	0104175			
請求月				
	使用料	本体	消費税	合計(税込)
R4年4月				
R4年5月	24.0m ³	40,600	4,060	44,660
R4年6月				
R4年7月	35.0m ³	42,245	4,225	46,470
R4年8月				
R4年9月	34.0m ³	42,100	4,210	46,310
R4年10月				
R4年11月	25.0m ³	40,745	4,075	44,820
R4年12月				
R5年1月	20.0m ³	40,000	4,000	44,000
R5年2月				
R5年3月	15.0m ³	39,245	3,925	43,170
合計	153.0m ³	244,935	24,495	269,430

矢板市水処理センター 令和5年度 水道料				
水栓番号	0104175			
請求月				
	使用料	本体	消費税	合計(税込)
R5年4月				
R5年5月	23.0m ³	40,445	4,045	44,490
R5年6月				
R5年7月	25.0m ³	40,745	4,075	44,820
R5年8月				
R5年9月	20.0m ³	40,000	4,000	44,000
R5年10月				
R5年11月	22.0m ³	40,300	4,030	44,330
R5年12月				
R6年1月	12.0m ³	38,800	3,880	42,680
R6年2月				
R6年3月	16.0m ³	39,400	3,940	43,340
合計	118.0m ³	239,690	23,970	263,660

矢板市水処理センター 令和6年度 水道料				
水栓番号	0104175			
請求月				
	使用料	本体	消費税	合計(税込)
R6年4月				
R6年5月	27.0m ³	41,046	4,104	45,150
R6年6月				
R6年7月	33.0m ³	41,946	4,194	46,140
R6年8月				
R6年9月	35.0m ³	42,246	4,224	46,470
R6年10月				
R6年11月	28.0m ³	41,200	4,120	45,320
R6年12月				
R7年1月	23.0m ³	40,446	4,044	44,490
R7年2月				
R7年3月	15.0m ³	39,246	3,924	43,170
合計	161.0m ³	246,130	24,610	270,740

矢板市水処理センターガス料金

単位：円（税込）

	令和 4 年	令和 5 年	令和 6 年
4 月	2,021	1,504	2,514
5 月	2,063	2,329	1,870
6 月	2,063	2,198	1,870
7 月	2,063	2,132	1,870
8 月	1,023	2,132	2,514
9 月	894	2,001	1,870
1 0 月	2,064	2,067	2,256
1 1 月	1,999	2,132	2,063
1 2 月	2,192	2,044	2,127
1 月	2,321	2,463	2,127
2 月	2,394	2,569	2,191
3 月	1,438	2,569	2,127
合計	22,535	26,140	25,399

農業集落排水施設光熱水費

【電気料】

単位：円（税込）

沢地区処理場				沢地区ポンプ場			境林地区処理場			境林地区ポンプ場		
	R 4	R 5	R 6	R 4	R 5	R 6	R 4	R 5	R 6	R 4	R 5	R 6
4 月	197,971	172,534	245,092	4,884	4,579	4,613	237,795	303,037	157,910	38,468	35,945	37,488
5 月	217,838	207,620	287,084	5,055	4,602	4,730	230,434	263,404	166,710	37,460	34,412	37,064
6 月	280,312	260,553	281,042	5,240	4,704	4,777	235,939	256,980	174,483	37,204	35,199	36,957
7 月	255,533	284,992	306,081	5,164	4,710	4,871	237,379	210,631	171,909	37,855	38,281	37,324
8 月	253,702	251,325	304,759	5,455	4,749	4,926	265,322	183,069	184,039	39,793	33,843	41,216
9 月	264,216	212,470	266,339	5,352	4,675	9,719	273,596	181,220	178,549	37,957	33,564	42,586
1 0 月	243,468	223,539	244,236	5,294	4,681	4,782	278,416	187,205	164,713	39,199	34,310	35,248
1 1 月	247,127	191,443	231,745	4,896	4,628	4,738	331,894	203,179	173,295	39,217	35,907	37,892
1 2 月	312,925	171,361	225,088	4,653	4,572	4,709	331,185	202,260	176,091	41,319	37,857	41,106
1 月	269,362	171,295	258,781	4,653	4,591	4,775	351,880	235,815	180,756	44,999	39,762	44,965
2 月	188,110	194,464	222,143	4,541	4,592	4,712	335,326	192,006	170,006	39,434	38,050	42,882
3 月	172,300	222,041	220,422	4,541	4,578	4,695	290,773	154,829	155,366	37,794	37,799	40,668
合計	2,902,864	2,563,637	3,092,812	59,728	55,661	62,047	3,399,939	2,573,635	2,053,827	470,699	434,929	475,396
月平均	241,905	213,636	257,734	4,977	4,638	5,171	283,328	214,470	171,152	39,225	36,244	39,616

【通信費】

【水道料】

沢地区処理場				境林地区処理場			沢地区処理場			境林地区処理場		
	R 4	R 5	R 6	R 4	R 5	R 6	R 4	R 5	R 6	R 4	R 5	R 6
4 月				16,026	16,506	14,450	4,840	4,840	4,840	4,840	4,840	4,840
5 月				19,345	18,997	14,425						
6 月				19,291	16,518	14,425	4,840	4,840	4,840	4,840	4,840	4,840
7 月				16,518	16,518	14,425						
8 月				16,518	16,518	14,425	4,840	4,840	4,840	4,840	4,840	4,840
9 月				16,604	16,569	14,442						
1 0 月				16,512	16,518	14,425	4,840	4,840	4,840	4,840	4,840	4,840
1 1 月				16,903	17,693	14,425						
1 2 月				16,512	14,460	14,425	11,600	4,840	4,840	4,840	10,610	4,840
1 月				16,512	14,425	14,425						
2 月				16,547	14,420	14,425	4,840	4,840	4,840	8,470	4,840	4,840
3 月	26,400	26,400	26,400	17,722	14,420	14,425						
合計	26,400	26,400	26,400	205,010	193,562	173,142	35,800	29,040	29,040	32,670	34,810	29,040
月平均	26,400	26,400	26,400	17,084	16,130	14,429	5,967	4,840	4,840	5,445	5,802	4,840

コリーナ矢板排水処理施設光熱水費

単位：円（税込）

電気料

	浄化センター		
	R 4	R 5	R 6
4 月	403,753	491,161	410,525
5 月	413,864	451,049	412,191
6 月	444,223	462,151	434,712
7 月	456,365	443,129	460,786
8 月	498,606	395,013	510,074
9 月	503,968	390,070	565,571
1 0 月	525,617	371,862	433,340
1 1 月	521,750	381,823	468,916
1 2 月	547,918	369,453	462,982
1 月	580,610	391,146	469,295
2 月	530,506	390,279	444,501
3 月	457,678	381,415	427,388
合計	5,884,858	4,918,551	5,500,281
月平均	490,405	409,879	458,357

通信費

	ポンプ場【1～5】		
	R 4	R 5	R 6
	172,625	164,014	192,905
	183,638	177,191	183,674
	194,725	251,269	179,296
	195,661	227,572	208,169
	201,377	172,153	248,960
	208,558	171,915	226,296
	198,592	170,942	175,823
	187,719	166,465	183,223
	178,644	158,756	178,379
	182,480	169,597	186,001
	165,554	166,074	170,462
	164,284	174,423	176,347
	2,233,857	2,170,371	2,309,535
	186,155	180,864	192,461

	浄化センター+ポンプ場【1～5】		
	R 4	R 5	R 6
	15,035	15,439	15,796
	14,978	14,995	15,528
	15,065	15,101	15,528
	14,978	15,066	15,545
	15,804	14,995	15,616
	15,257	15,308	17,287
	15,076	15,154	15,720
	14,989	15,136	15,580
	14,981	15,545	15,528
	14,972	15,615	15,598
	14,972	15,540	15,684
	14,989	15,522	15,528
	181,096	183,416	188,938
	15,091	15,285	15,745

水道料

	浄化センター		
	R 4	R 5	R 6
	11,160	11,330	11,000
	11,160	11,000	12,320
	11,000	11,000	12,150
	11,160	11,000	11,490
	11,330	11,000	13,640
	12,150	11,000	11,000
	67,960	66,330	71,600
	11,327	11,055	11,933

支 給 品 台 帳

No.	品 名	在庫
1	机 SD-S5S3	13
2	机 SD-SD 33	1
3	黒板 BB-H 236 MW1	2
4	応接用椅子 CE-483 KSM	1
5	応接用椅子 CE-485 KSM	2
6	折りたたみ椅子 CF-M7VB	100
7	会議テーブル KT-S 11R	30
8	保管庫用ベースUHB-1	7
9	折りたたみ椅子用台車 PC-50	5
10	ガスレンジ パロマPA-2CP	2
11	応接用例テーブル NT-S 242 R	1
12	掛け時計 セイコーSH 383	4
13	冷蔵庫 SJ-42 TC	1
14	冷蔵庫 SJ-23 TC	2
15	傘立て SV-30 N	1
16	電動床磨き機 リンレイフロアーポリッシャーP-12 H	1
17	ロッカー UH-S 11 M (下側)	5
18	ロッカー UH-S 12 M (上側)	5
19	ロッカー UH-S 15 M	2
20	椅子 CR-2	11
21	液晶ビジョン シャープXV-H1Z一式	1
22	ドライングシェルフ (800×510×1600cm)	1
23	多機能型上皿天秤 PM-2000	1
24	PHメーター F 14	1
25	電気マッフル炉 KM-280	1
26	分析天秤マイク AE-240	1
27	卓上型遠心機 コクサン製	1
28	マニーホールド ブランチ3ノズル(111/4PT)(SS測定用)	1
29	溶存酸素計(DO計) DO-8 F	1
30	定温恒温器 MIR-252	1
31	レコーダー SS-250-F-1	1
32	超音波洗浄機 UT-55	1
33	顕微鏡用カメラキット PM-10AK-L2	1
34	送風定温乾燥機 FC-612	1
35	定温乾燥機 FS-612	1
36	顕微鏡 BHT321	1
37	ローター コクサン製(100×4ml)	1
38	キシデン ケーデーアーク(溶接機)	1
39	ハタヤ コードリール AB 302 M(100V用)	2
40	ホクセイ 2連梯子 HLD-64	1

支 給 品 台 帳

No.	品 名	在庫
41	軽量アングル棚 (200×180×450cm)	1
42	日立 電気ドリル D 10 C	1
43	日立 高速切断機 CC 14 SA	1
44	日立 振動ドリル V 14	1
45	自動ビューレット (1000ml 茶色瓶)	2
46	空気呼吸器 L2-415 G	1
47	デシケーター 上口(300×430×285cm)	2
48	遠心沈殿管 (100ml)	1
49	PH残留塩素比色測定器 携帯型1号	2
50	減圧用フィルターホルダー KGS-47	2
51	透視度計 (100cm)	2
52	メノー乳針深型 (80×100×35cm)	1
53	自動洗浄機 (180×70)	1
54	ペッピックス (395×530×370cm)	2
55	水温計 ペッテンコーヘル(70×360cm)	2
56	噴霧機	1
57	刈り払い機 (丸山式)	1
58	メガホン 東芝 TM 151	1
59	シャープ ワープロ WD-A 341	1
60	椅子 コクヨ CR -2	2
61	刈り払い機 (丸山式)	1
62	ヘッジトリマー FCH-45 SA	1
63	携帯用汚泥濃度計 ML-52	1
64	PRビデオ (建ちゃんの下水道探検記)	1
65	パーティション PA-515N(1542×1530cm)	4
66	ケット式赤外線水分計 F-2A型	1
67	武井 ビックファイヤー LS	1
68	カメラ (オリンパスイズム 220)	1
69	ユアサ バッテリーチャージャー Z 2451 B	1
70	高圧洗浄機 HW 70 (100V用)	1
71	ハンディーDO計 HDO-110	1
72	アセチレンガス溶接機	1
73	コードレステレホーン CET-B3	1
74	上皿秤 (1~20Kg)	1
75	ストブ コロナ対流型 SL-221 W	2
76	カシオ 漢字ラベルライター KL-800	1
77	水中スカムスキマー 8-FSP	1
78	PRビデオ (よみがえる水)	1
79	透視度計 ST-100(100cm)	1
80	電気丸鋸 C-12 B1	1

支 給 品 台 帳

No.	品 名	在庫
81	ジスクグラインダー PDA-100 D(S) 日立工機	1
82	部品生箱 SB-620 P	1
83	ハンドトラック 108 S(プレス製)(ネジ切)	1
84	パイプバイス V1(レッキス工業)	1
85	卓上電気グラインダー GT21(日立工機)	1
86	コードリール 3相200V CP 332(ハタヤリミテッド)	1
87	PRビデオ (人と水とマメニティライフ)	1
88	扇風機 450cm(工場用)	1
89	残水用水中ポンプ BTS 401 S (100V用)(ハンドホール用)	1
90	回転式ホワイトボード BB-R 236 W1W1N	2
91	保管庫ベース WBN-B 1 F 4 (ダブル)	1
92	ビジネスウォール(開閉保管庫) BWN-S 5 FIN(下置きタイプ)	1
93	ビジネスウォール(開閉保管庫) BWN-S 6 FIN(上置きタイプ)	1
94	刈り払い機 SRM 230U	2
95	掃除機 日立CV-96 HS	1
96	案内板 (W417D421W1288mm)	2
97	物品棚(中量) LLR-7635K (W1760・D600・H2100mm)	1
98	物品棚(中量) LLK-7635K (W1760・D600・H2100mm)	1
99	物品棚(中量) LLK-7425K (W1160・D450・H2100mm)	1
100	物品棚(軽量) LB-7665K (W1760・D600・H2100mm)	1
101	物品棚(軽量) LB-7665R (W1760・D600・H2100mm)	1
102	物品棚(軽量) LB-7645K (W1760・D450・H2100mm)	1
103	物品棚(軽量) LB-7465K (W1160・D600・H2100mm)	1
104	薬品庫 スライド扉型	1
105	電気掃除機 (マキタ集塵機) (No.406)	1
106	ベアリングブロー EA-510	1
107	スプレーガン K-80 A-13	1
108	ポンプ・機械部品庫 コクヨSK-A32F1	1
109	塩ビ加工機(溶接) WE-47	1
110	ベアリングヒーター BHC-2	1
111	小型動力ポンプ (トーハツ消防ポンプ・付属機器) V 55 BSX	1
112	超音波洗浄機 シャープ UT-605 S	1
113	リアカー MR-5	1
114	ヘッジトリマー HS-45	1
115	台車 WD-150	1
116	ウォーターバス TBM 212 AA	1
117	掃除機 サンヨークリーナー BSC-308 H	2
118	DVDレコーダー シャープDV-RW 60	1
119	高圧洗浄機 SEC-1309 (エンジン)	1
120	芝刈機 RCD-5301 AL	1

支 給 品 台 帳

No.	品 名	在庫
121	インキュベーター MIR-253	1
122	液晶テレビ シャープLC-26 E 8-B	1
123	消火器 粉末ABC消火器 PEP 10 D型	1
124	消火器 粉末ABC消火器 PEP 10 D型	1
125	消火器 粉末ABC消火器 PEP 10 D型	1
126	消火器 粉末ABC消火器 PEP 10 D型	1
127	XP自動ビューレット (10ml)F-B-BURET-P 10 S	1
128	消火器 粉末ABC消火器 PEP 10 D型	1
129	消火器 粉末ABC消火器 PEP 10 D型	1
130	消火器 粉末ABC消火器 PEP 10 D型	1
131	消火器 強化液消火器 ALS-3型	1
132	リヨービ HT-50000	1
133	マキタ MUH 3501	1
134	デンヨー TLG-7.5LSK	1
135	ヤマハ EF1600IS	1
136	アイコム IC-41880	2
137	リヨービ TB-2131	1

支給品台帳（工具箱）

No.	機械・器具品名		単位	在庫
1	両口スパナ	8 × 1 0	本	1
2	両口スパナ	1 0 × 1 2	本	1
3	両口スパナ	1 2 × 1 4	本	1
4	両口スパナ	1 3 × 1 7	本	1
5	両口スパナ	1 7 × 1 9	本	1
6	両口スパナ	2 2 × 2 4	本	1
7	メガネレンチ	8 × 1 0	丁	1
8	メガネレンチ	1 1 × 1 3	丁	1
9	メガネレンチ	1 2 × 1 4	丁	1
10	メガネレンチ	1 4 × 1 7	丁	1
11	メガネレンチ	1 7 × 1 9	丁	1
12	メガネレンチ	2 2 × 2 4	丁	1
13	片目片口スパナセット	8, 1 0, 1 2, 1 3, 1 4, 1 7	組	1
14	モンキーレンチ	2 0 0 mm	丁	1
15	モンキーレンチ	2 5 0 mm	丁	1
16	ドライバー	中+	本	1
17	ドライバー	中-	本	1
18	ドライバー	+	本	1
19	ドライバー	-	本	1
20	ドライバー	小-	本	1
21	プライヤー		丁	1
22	ウォータープライヤー		丁	1
23	パイプレンチ	2 5 0 mm	丁	1
24	片手ハンマー	1 l b	本	1
25	カッターナイフ		本	1
26	六角レンチセット	1. 1. 5. 2. 3. 5. 6. 8	組	1
27	シクネスゲージ		個	1
28	スタッピードライバー	+	本	1
29	ニッパー		丁	1
30	ラジオペンチ		丁	1
31	シノラジェット	1 4 × 1 7	丁	1
32	ピンセット		個	1
33	スクレイパー		丁	1

支給品台帳（電気工具箱）

No.	機械・器具品名		単位	在庫
1	圧着ペンチ	イズミ5N18・裸圧着端子、スリーブ用	本	1
2	圧着ペンチ		本	1
3	ワイヤーストリッパー	ベッセル、3000B	本	1
4	ドライバー	+	本	1
5	ドライバー	－	本	1
6	ドライバー	小－	本	1
7	ラジオペンチ		本	1
8	カッターナイフ	大	本	1
9	カッターナイフ	小－	本	1

支給品一覧表

(水質)

No.	機械・器具品名	単位	在庫	備考
1	D P D 残留塩素測定器	個	1	
2	自動ビューレット 1 0 m l	本	1	
3	自動ビューレット用瓶 1 0 0 0 m l 褐色	本	1	
4	自動ビューレット用瓶 2 0 0 0 m l 褐色	本	1	
5	分注器 1 0 m l	個	1	
6	分注器 1 0 m l 褐色	個	2	
7	分注器用瓶 2 0 0 0 m l	個	3	
8	分注器用瓶 1 0 0 0 m l 褐色	個	1	
9	デシケーター	個	2	
10	ドラインゲシェルフ	個	1	
11	顕微鏡 ポラロイド付き	台	1	
12	送風乾燥機 602	台	1	
13	送風乾燥機 620	台	1	
14	インキュベーター	台	1	
15	冷蔵庫	台	1	
16	電子天秤 A E 2 4 0	台	1	
17	電子天秤 A E 2 0 0 0	台	1	
18	純水製造器	台	1	
19	超音波洗浄器	台	1	
20	超音波洗浄器 ピペット用	台	1	
21	遠心分離器	台	1	
22	アスピレーター	台	1	
23	ウォーターバス	台	1	
24	PH計	台	1	
25	D O 計	台	1	
26	マッフル炉	台	1	

完 成 図 書 台 帳

図書名称		
矢板市矢板終末処理場 管理棟詳細設計図	(建築)	昭和63年度
矢板市矢板終末処理場 建設工事その2	(土木・建築工事)	昭和63年度
矢板市矢板終末処理場 建設工事その3	機械棟・管理棟(建築機械、電気設備工事)	平成元年度
矢板市矢板終末処理場 建設工事その3	管理棟	平成元年度
矢板市矢板終末処理場 建設工事 その4	完成図(縮小版)	平成2年度
矢板市矢板水処理センター 建設工事 その5	(建築機械設備・建築電気設備)	平成9年度
矢板市矢板水処理センター 建設工事 その5	完成図書	平成9年度
矢板市矢板水処理センター 建設工事 その6	完成図書(建築機械・電気)	平成17年度
矢板市矢板水処理センター 建設工事 その6	工事完成図	平成17年度
矢板市矢板水処理センター 建設工事 その7	完成図書(建築機械・電気)	平成18年度
矢板市矢板水処理センター 建設工事 その7	完成図(縮小版)	平成18年度
矢板市矢板水処理センター 建設工事 その8	完成図書	平成23年度
矢板市矢板水処理センター 建設工事 その8	完成図(縮小版)	平成23年度
矢板市矢板水処理センター 建設工事 その9	完成図書	平成23年度
矢板市矢板水処理センター 建設工事 その9	完成図(縮小版)	平成23年度
矢板市矢板終末処理場 水処理施設	(土木・建築工事)	昭和63年度
矢板市矢板終末処理場 水処理設備工事	完成図書(1/5)	平成元年度
矢板市矢板終末処理場 水処理設備工事	完成図書(2/5)	平成元年度
矢板市矢板終末処理場 水処理設備工事	完成図書(3/5)	平成元年度
矢板市矢板終末処理場 水処理設備工事	完成図書(4/5)	平成元年度
矢板市矢板終末処理場 水処理設備工事	完成図書(5/5)	平成元年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その2	完成図書(1/2)	平成11年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その2	完成図書(2/2)	平成11年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その3	完成図書(1/2)	平成12年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その3	完成図書(2/2)	平成12年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その4	完成図書(1/4)	平成12年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その4	完成図書(2/4)	平成12年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その4	完成図書(3/4)	平成12年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その4	完成図書(4/4)	平成12年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その5	完成図書(1/4)	平成19年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その5	完成図書(2/4)	平成19年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その5	完成図書(3/4)	平成19年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その5	完成図書(4/4)	平成19年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その5	完成図書縮小版(1/3)	平成19年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その5	完成図書縮小版(2/3)	平成19年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その5	完成図書縮小版(3/3)	平成19年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その6	完成図書(1/6)	平成23年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その6	完成図書(2/6)	平成23年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その6	完成図書(3/6)	平成23年度
矢板市矢板水処理センター 水処理設備工事 その6	完成図書(4/6)	平成23年度

完 成 図 書 台 帳

図書名称		
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その6 完成図書(5/6)		平成23年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その6 完成図書(6/6)		平成23年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その6 完成図書縮小版(1/2)		平成23年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その6 完成図書縮小版(1/2)		平成23年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その6 土木工事完成図		平成23年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その6 土木工事完成図縮小版		平成23年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その7 完成図書(1/2)		平成28年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その7 完成図書(2/2)		平成28年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その7 工事完成図縮小版(機械設備)		平成28年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その7 工事完成図縮小版(電気設備)		平成28年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その8 完成図書(1/2)		令和5年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その8 完成図書(2/2)		令和5年度
矢板市矢板水处理センター 水処理設備工事 その8 工事完成図書縮小版		令和5年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 完成図書(1/5)		平成元年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 完成図書(2/5)		平成元年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 完成図書(3/5)		平成元年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 完成図書(4/5)		平成元年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 完成図書(5/5)		平成元年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 その2 完成図書		平成2年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 その3 完成図書(1/7)		平成2年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 その3 完成図書(2/7)		平成2年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 その3 完成図書(3/7)		平成2年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 その3 完成図書(4/7)		平成2年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 その3 完成図書(5/7)		平成2年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 その3 完成図書(6/7)		平成2年度
矢板市矢板終末処理場 電気設備工事 その3 完成図書(7/7)		平成2年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その4 アプリケーションプログラム		平成10年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その4 完成図書(1/4)		平成10年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その4 完成図書(2/4)		平成10年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その4 完成図書(3/4)		平成10年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その4 完成図書(4/4)		平成10年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その5 アプリケーションプログラム		平成11年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その5 完成図書		平成11年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その6 アプリケーションプログラム		平成12年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その6 完成図書(1/2)		平成12年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その6 完成図書(2/2)		平成12年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その7 アプリケーションプログラム		平成13年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その7 完成図書(1/4)		平成13年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その7 完成図書(2/4)		平成13年度
矢板市矢板水处理センター 電気設備工事 その7 完成図書(3/4)		平成13年度

完成圖書台帳

[illegible]

完成圖書台帳

[illegible]

完 成 図 書 台 帳

図書名称		
鹿島町幹線管渠築造工事	完成図書	平成6年度
仲町幹線管渠築造工事	完成図書	平成3年度
上町幹線管渠築造工事	完成図書	平成3年度
針生第2ポンプ場電気・機械設備工事 中第2ポンプ場	完成図書	平成9年度
中第2ポンプ場電気・機械設備工事 中第2ポンプ場	完成図書	平成10年度
中第1ポンプ場電気・機械設備工事 中第1ポンプ場	完成図書	平成12年度
木幡第2ポンプ場電気・機械設置工事	完成図書	平成14年度
矢板市木幡ポンプ場電気・機械設備工事	完成図書	平成15年度
白栗ポンプ場 電気・機械設置工事	完成図書	平成16年度
富田中継ポンプ場設置工事	完成図書	平成17年度
汚水流量計設置工事	完成図書	平成17年度
木幡西第2中継ポンプ設置工事	完成図書	平成18年度
木幡西第3中継ポンプ設置工事	完成図書	平成18年度
越畑中継ポンプ設置工事	完成図書	平成20年度
石関第1ポンプ場 設置工事	完成図書	平成27年度
つつじヶ丘ポンプ場 設置工事	完成図書	平成28年度
石関第2ポンプ場 設置工事	完成図書	平成29年度

修繕工事報告書

図書名称		
矢板市水処理センター	施設台帳作成	平成14年度
矢板市水処理センター	遠方監視システム	平成15年度
矢板市水処理センター	次亜注入設備配管修繕	平成15年度
矢板市水処理センター	曝気ブロワーインバータ修繕	平成19年度
矢板市水処理センター	ポンプ井攪拌機修繕	平成20年度
矢板市水処理センター	1-1返送汚泥ポンプ修繕	平成21年度
矢板市水処理センター	1-1生汚泥ポンプ修繕	平成21年度
矢板市水処理センター	返送汚泥機器修繕	平成22年度
矢板市水処理センター	1-2返送汚泥ポンプ修繕	平成22年度
矢板市水処理センター	PAS修繕	平成22年度
矢板市水処理センター	No.2薬品溶解タンク 溶解水弁修繕	平成25年度
矢板市水処理センター	汚泥用スクリーン修繕	平成27年度
中第2ポンプ場	非常通報装置修繕	平成12年度
針生第2マンホールポンプ場	ポンプ場修繕	平成15年度
東第3マンホールポンプ場	修繕工事	平成16年度
中第1マンホールポンプ場	水位計交換工事	平成21年度
中第1マンホールポンプ場	非常通報装置修繕	平成22年度
仲町マンホールポンプ場	非常通報装置修繕	平成22年度
鹿島町マンホールポンプ場	ポンプ交換工事	平成22年度
鹿島町マンホールポンプ場	非常通報装置修繕	平成23年度
上町マンホールポンプ場	チャッキ弁修繕	平成25年度
東町マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	平成25年度
中第2マンホールポンプ場	水位計交換工事	平成26年度
中第2マンホールポンプ場	汚水ポンプ交換工事	平成26年度
木幡第2マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	平成27年度
木幡西第3マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	平成28年度
中第1マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	平成28年度
上町マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	平成29年度
東町マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	平成29年度
木幡西第2マンホールポンプ場	No.2ポンプ修繕工事	平成30年度
中第2マンホールポンプ場	ジェットバルブ修繕工事	令和2年度
木幡西第2マンホールポンプ場	水位計交換工事	令和2年度
針生第2マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	令和4年度
木幡第2マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	令和4年度
木幡西第2マンホールポンプ場	No.1ポンプ修繕工事	令和4年度
仲町マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	令和5年度
白栗マンホールポンプ場	汚水ポンプ修繕工事	令和5年度
鹿島町マンホールポンプ場	水位計修繕工事	令和5年度
中第2マンホールポンプ場	ジェットバルブ修繕工事	令和6年度
上町マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	令和6年度
東町マンホールポンプ場	非常通報装置修繕工事	令和6年度

矢板市公共下水道の維持管理における非常時対応要領

1 〔目的〕

この要領は、矢板市下水道施設における緊急、非常事態が発生した場合の対応について、矢板市地域防災計画を補完する目的で定めるものである。

2 〔非常時の定義〕

非常時とは、次表による。

区 分	判断基準
(1) 異常水質	・ 下水道法の有害物質の排水基準値を超えた場合 ・ 大規模な油類などの流入があった場合 ・ その他、異常水質と認められる場合
(2) 異常水量	・ 幹線管渠マンホール、中継ポンプ場及び矢板市水処理センターが、溢水又はそのおそれがある場合
(3) 電気事故 設備事故	・ 死傷事故が発生した場合 ・ 矢板市水処理センターの根幹施設の故障により、処理不能又はそのおそれがある場合
(4) 地 震	・ 矢板市の観測点で、震度4以上を観測した場合
(5) 火 災	・ 施設火災及び近郊火災で、延焼のおそれがある場合
(6) 水 害 等	・ 施設が浸水又はそのおそれがある場合

3 〔非常時における体制等〕

非常事態が発生した場合の対応、勤務その他必要な事項については、別途定める。

附 則

この要領は、平成13年8月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成17年4月1日から施行する。

附 則

この要領は、平成19年4月1日から施行する。

非常時における体制

1 目的

この計画は、矢板市公共下水道の維持管理における非常時対応要領 3 の体制を確立し、速やかな矢板市公共下水道の機能回復と安全確保を図るために、必要な事項を定めるものである。

2 連絡系統及び勤務体制

非常時の区分毎（矢板市公共下水道の維持管理における非常時対応要領 2）に行うものとする。

なお、非常時の連絡系統は、別紙の連絡体制のとおりとするが、市長等又は関係機関への連絡については、非常時の区分に応じて対応する。

(1) 異常水質

異常水質を発見した者又は通報を受けた者は、直ちに上下水道事務所長（以下「所長」という。）に報告する。所長は、状況に応じて上下水道事務所職員（以下「所員」という。）の招集を行うものとする。

(2) 異常水量

異常水量を発見した者又は通報を受けた者は、直ちに所長に報告する。所長は、状況に応じて所員の招集を行うものとする。

(3) 電気事故・設備事故

所長は、状況に応じて所員の招集を行うものとする。

(4) 地震

矢板市の観測点で、震度 4 以上の地震が発生した場合は、所員は自主的に出勤する。

(5) 火災

水処理センターで火災が発生した場合は、所長は直ちに所員を招集する。ただし、近郊火災の場合は、所長の判断により所員の招集を行うものとする。

(6) 水害等

所長の判断により所員を招集することができる。

3 非常時の対応業務

非常時の区分毎（矢板市公共下水道の維持管理における非常時対応要領２）に行うものとする。

(1) 異常水質

ア 油の流入

油が内川に流出するのを防止するため、流入先の特定を行うとともに、管渠及びマンホールを調査して、オイルフェンス、オイルマットで除去する。

イ 有害物質の流入

化学物質等の流入により、水処理センターが処理不能又は処理困難となった場合は、有害物質の分析を行いその物質の特定をする。

また、有害物質の排出先を確認するため、特定事業場等の立入り調査を行う。

ウ 放流水が排水基準値を超えた場合

原因の究明にあたりとともに、維持管理業者と共に水質の改善を図る。

(2) 異常水量

溢水の原因を究明するため、管渠・マンホール・ポンプ場・水処理センターの点検を行い、状況に応じた対策を講じる。

(3) 電気事故・設備事故

ア 死傷事故

警察署、矢板消防署、労働基準監督署に協力して、原因の究明にあたる。

イ 水処理センター等の根幹施設の故障

故障原因の究明にあたるとともに、維持管理業者や水処理センター建設業者等の協力を得て、機能回復にあたる。

(4) 地震

管渠・マンホール・ポンプ場水処理センターの点検を行い、流下能力の確保を図る。

(5) 火災

二次災害の防止と、機能回復のための臨機な対応を行う。

(6) 水害等

管渠・マンホール・ポンプ場・水処理センターの点検を行う。